

Starting port

新潟開港150周年記念誌



みんなでつくる、みなとまち新潟

新潟開港150周年記念事業実行委員会



150th

Starting port

新潟開港150周年記念誌

新潟開港150周年記念事業実行委員会



Starting port

みんなで作る、みなとまち新潟スタート!

いつ訪れても新しい。訪れるたびに発見がある。

そして、ふとした時に思い出す。

めざすのは、そんな変わり続けるみなとまち。

港から川へ、そして街へ。

人、モノ、情報、文化、歴史、感情、情熱、息づかい…。

あらゆるものが行き交い、出会い、融合し、

またときにはぶつかりながら、新しいエネルギーが生まれていく。

みなとまち新潟は、ここに暮らす人とここを訪れる人、

みんなで作くりあげる運動体。

新潟開港150周年。

あなたといっしょに、新しいスタートをきります。



<ロゴコンセプト>

黄色いリボンは、灯台のサーチライトが未来を照らし、人々を導くフラッグになるとともに、ヒト、モノ、情報が集まり、「出会う」ことによって新しさが生まれ、更新される広がり表現している。その上にNiigataや新しい= NewのNが浮かび上がる。水色のボーダーを組み合わせ、港らしさを演出。3本のラインは、信濃川、阿賀野川、日本海を表現している。



基本方針

みなと文化の深化と次世代への継承

みなとまちを中心とした新潟ブランドの情報発信

新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築

港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造

活気と魅力があふれる「みなと」の創出



みんなで作る、みなとまち新潟

目次

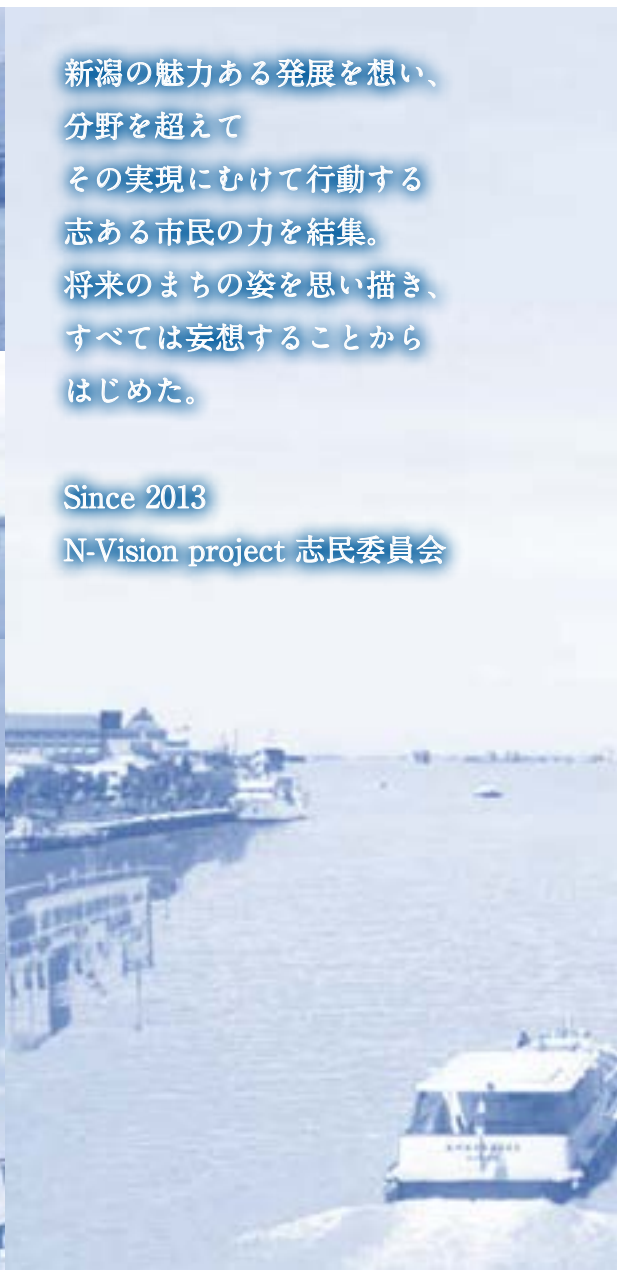
- 06 ごあいさつ
- 08 I 新潟開港 150 周年記念事業について
- 14 II 写真でふりかえる新潟開港 150 周年記念事業
 - ・アニバーサリー
 - ・みなとまち新潟の魅力磨き
 - ・みなとまちの賑わいづくり
 - ・都市間交流
 - ・次世代のまちづくり



新潟の魅力ある発展を想い、
分野を超えて
その実現にむけて行動する
志ある市民の力を結集。
将来のまちの姿を思い描き、
すべては妄想することから
はじめた。

Since 2013

N-Vision project 志民委員会



62 Ⅲ みなとまち新潟の150年をふりかえる

68 Ⅳ 実行委員会について

72 あとがき

73 協賛者

95 寄付者

・本誌掲載の組織・団体名や役職・肩書等は各行事開催当時のものです。



ごあいさつ

新潟開港 150 周年記念事業の開催にあたり、多くの企業、団体、市民の皆さまからご協力を賜り、みなとまち新潟ブランドの創造・魅力の向上が図られましたことを心からお礼を申し上げます。

「みなとまち新潟」は、古くより北前船による人やモノの往来や信濃川や阿賀野川を通じた舟運によって築き上げられたものです。これを本地域における共通のアイデンティティとし、みなとまちへの誇りや愛着につながるように記念事業に取り組んできました。

記念事業の開催にあたっては、港湾整備を担う国土交通省北陸地方整備局、港湾管理者である新潟県、開港時の歴史的経緯を踏まえ新潟市、佐渡市、聖籠町との間で早々から幾多の意見交換を重ね、市民団体からのご意見も踏まえ、オール新潟の体制による記念事業とすることを目指してまいりました。

新潟開港 150 周年を単にお祝いの行事とするのではなく、より多くの民間企業や団体、市民を巻き込み、新しい新潟を切り拓くスタートの機会と位置づけました。みなとまちの魅力を見つめ直し、それを磨き上げるための参加プロセスとして、「みんなでつくる、みなとまち新潟スタート！」を合言葉に運動体の形成に努めてまいりました。

3年間の記念事業を通じて、新潟は港とともに発展してきたこと、そして、港は今後のさらなる発展に欠かせない存在であることを市民の皆さまをはじめ多くの方々から感じていただけたのではないかと考えています。

今後も、まちの魅力磨きや賑わいづくりに取り組むことはもとより、都市間交流をさらに促進し、「みなとまち新潟」を活かしたまちづくりを進めながら本地域の拠点性向上に取り組んでまいりたいと考えています。

ここからが新しい「みなとまち新潟」づくりのはじまりです。

新潟開港 150 周年を契機として、未来に向かって一緒にスタートしましょう。

新潟開港 150 周年記念事業実行委員会 会長

新潟市長 中原 八一



新潟港は明治元年の開港以来、幾多の難局を乗り越えながらも着実に整備を進め、2019年1月1日に開港150周年を迎えました。この記念すべき年を新しい新潟を切り拓くスタートの機会とし、新潟がさらに発展していくために、3か年にわたり記念事業を実施してまいりました。

キックオフイベントである「海フェスタにいがた」をはじめ、1月1日の開港記念日イベント、新潟開港150周年記念式典、東港開港50周年記念式典など各種記念行事はもとより、ブルーインパルス展示飛行、Nii port フェスタ、NHKみなとまち新潟音楽祭など多くのイベントや記念商品等の開発を通じて、これまでの歴史や文化をふり返るとともに、記念すべき年を迎えた「みなとまち新潟」を大いに盛り上げることができました。

また、次の150年へとつながる取り組みとして「開港150周年のまちづくり」をテーマとした記念シンポジウムの開催や、万代島地区将来ビジョンの策定などを行い、この記念すべき年を次世代へ向けた新しい新潟を考える契機とすることもできたと考えております。

「みんなで作る、みなとまち新潟スタート!」を合言葉とし、多くの皆様から御協力いただきながら、これら実り多い事業を実施することができましたことを、改めて心より感謝申し上げます。

今後も、新潟港が活気と魅力にあふれる「みなと」となるべく、機能向上やにぎわいと新しい価値の創造を図りながら、新潟の魅力をさらに磨き上げ、県民の皆様が新潟を誇りに思い、住み続けたいと思える新潟、国内外の皆様が訪れてみたいと感じていただける新潟となるよう取り組んでまいります。

新潟開港150周年記念事業実行委員会 名誉会長

新潟県知事 花角 英世



I 新潟開港150周年記念事業について



新潟湊之真景（新潟市歴史博物館蔵）

▶ 開催趣旨

新潟港は、安政の五カ国条約により開港五港の一つに指定され1869年1月1日（明治元年11月19日）に、佐渡夷港（現在の両津港）を補助港として開港し、2019年1月1日に開港150周年を迎えました。

新潟は、古くより越後平野を流れる信濃川や阿賀野川の川湊として栄え、新津、白根、巻といった現在の新潟市域や、新発田、津川、三条、燕といった地域において物資が流通し、河口地にある新潟湊が舟運と海運をつなげる結節点としての役割を果たしてきました。さ

らに、江戸時代には、北前船の寄港地としてにぎわい、人・物・文化が新潟を拠点に交流し、日本海側最大の湊町として繁栄しました。

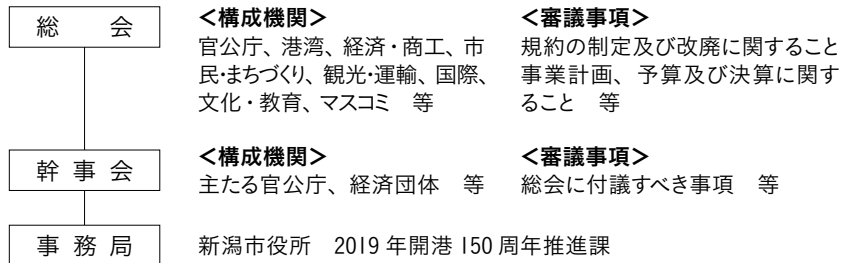
また、開港以後、新潟湊から新潟港へと近代港湾としての機能が整備され、日本海側初の特定重要港湾の指定や新潟東港の開港などを経て、1995年には、日本海側唯一の中核国際港湾に、2011年には、国際海上輸送網の拠点となる国際拠点港湾に位置づけられるなど、日本海側を代表する港として発展してきました。

今後、新潟港をはじめ新潟がさらに発展していくため、新潟開



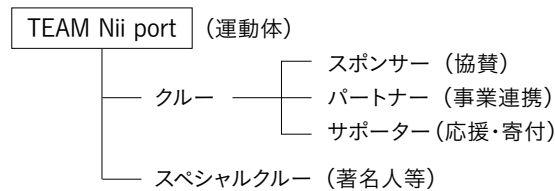
▶ 実行委員会の体系

開催趣旨にご賛同をいただいた幅広い分野の方々計 165 機関で構成



▶ サポーター制度

開催趣旨にご賛同をいただいた幅広い分野の方々から事業参画をいただくための制度です。新潟開港 150 周年をみんなで盛り上げる仕組みです。



▶ 事業実施範囲

新潟市、佐渡市、聖籠町、新潟の特性を活かした地域



港 150 周年を過去から未来へと紡ぎ、新しい新潟を切り拓くスタートの機会として位置付け、みなとまちの育んだ歴史や文化を継承・発展させ、地域の誇り (シビックプライド) を醸成するとともに、拠点性の向上やまちづくりを推進し、国内外からの交流人口の拡大や地域の活性化につなげていくことが重要となってきます。

新潟開港 150 周年を迎えるこの記念すべき機会を、地域が一体となった取組みとして推し進めていくため、幅広い分野の関係者のみなさまとともに、新潟開港 150 周年記念事業を開催します。

▶ 事業期間

<機 運 醸 成 期 間> 2017.4 ~ 2018.6

<記念事業コア期間> 2018.7 ~ 2019.12

新しい新潟を切り拓く スタートの機会

1 みなと文化の深化と次世代への継承

2 みなとまちを中心とした新潟ブランドの情報発信

3 新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、
都市間連携の構築

4 港湾エリアを中心とした水辺空間の
個性あふれる賑わいの創造

5 活気と魅力があふれる「みなと」の創出

みんなで作った
みなとまち新潟
のイメージ

アニバーサリー行事

みなとまち新潟の
魅力磨き

みなとまちの
賑わいづくり

都市間交流

次世代の
まちづくり

みんなで作る、みなとまち新潟

みなとまち
イベント

スペシャル
クルーとの連携

民間企業
との連携

パートナー事業

市民団体
との連携

官公庁
との連携

▶ 新潟開港150周年記念事業 カレンダー

		2017年度	2018年度		
実行委員会主催事業	みなとまちイベント	<p>機運醸成期間</p> <p>8～11月 フォトコンテスト</p> <p>1月 プレシンポジウム</p>	<p>7月 オープニングイベント</p> <p>7月 ブルーインパルス 展示飛行</p> <p>7～8月 子ども流域連携 新潟×長野×福島</p> <p>7～9月 ポップサーカス新潟公演</p> <p>7月 海フェスタにいがた</p> <p>7～10月 水と土の芸術祭</p> <p>9月 「しらせ」一般公開</p> <p>9月 新潟エンジン02</p>		
	情報発信	<p>1月 コマーシャル展開</p> <p>NP (Nii port PRESS)</p> <p>Nii port プロジェクト</p> <p>ホームページ・Twitter・Instagram・Facebookでの情報発信</p>	<p>NP Vol.1 (4月)</p> <p>シティドレッシング</p>	<p>7月 市報にいがた特集号</p> <p>7月 新潟日報特集</p> <p>10月 新潟市広報番組「さわやか新潟」特集放送</p> <p>NP Vol.2 (7月)</p> <p>NP Vol.3 (9月)</p> <p>「古町芸妓×企業」記者会見</p>	
連携事業	パートナー事業	<p>日本語スピーチコンテスト (6月)</p> <p>みなと新潟光の響演2017 (9月)</p> <p>黒埼PAイルミネーション (12～2月)</p> <p>にいがたおおおかまキッズランド (3月)</p>	<p>港スーパーカーフェスタ (6～9月)</p> <p>新潟ミュージックシーンフェス (6～9月)</p> <p>一期一首 (7月)</p>	<p>みなと新潟光の響演2018 (9月)</p> <p>日本語スピーチコンテスト (9月)</p> <p>全国ねぎサミット2018 in にいがた (11月) ほか</p>	
		<p>レストランバス (4～6月)</p> <p>沼垂テラス商店街・朝市 (4～11月)</p> <p>信濃川感謝祭 やすらぎ堤川まつり (5月)</p>	<p>湊まち新潟歴史ウォーク (5～11月)</p> <p>白根大凧合戦 (6月)</p> <p>両津えびす祭り (6月)</p>	<p>FOOD SONIC in 新潟 (5月)</p> <p>東京ラーメンショー in 新潟 (6月)</p> <p>萬代橋サンセットカフェ (6～9月)</p> <p>ミズベリング信濃川やすらぎ堤 (7～10月)</p> <p>新潟まつり (8月)</p>	
関連施策	みなとまちの振興		<p>開港150周年記念給食</p> <p>万代島にぎわい空間の創造事業</p>	<p>万代島地区将来ビジョンの策定</p> <p>新潟ストーリープロジェクト</p> <p>姉妹・友好都市 (新潟市) との交流</p>	
	都市基盤の整備		<p>旧新潟税関庁舎等整備活用事業完了</p> <p>新潟駅高架駅第一期開業</p> <p>景観形成の推進</p>	<p>消防艇更新整備完了</p> <p>都市デザイン推進事業</p> <p>新潟港西港地区整備事業</p>	
		機運醸成期間			

※主な実施事業を掲載しております

2019年度

記念事業コア期間

12月 出張！なんでも鑑定団 in新潟	4月 Dia Landオープニングフェスタ	7月 「みょうこう」一般公開	11月 CUT IN PARK
12月 記念講演会	7月 Nii portフェスタ	7~8月 子ども流域連携 新潟×長野×福島	11月 東港50周年記念式典
1月 記念式典・祝賀会	8月 みなとまち新潟探検隊	8月 JRA柳都ステークス 新潟開港150周年記念	12月 記念フォーラム
1月 開港記念日イベント	9月 海自東京音楽隊コンサート	10月 みなとまち新潟音楽祭	
2月 記念シンポジウム	10月 Sea級グルメ全国大会in佐渡		
2月 NHKのど自慢			
1月 市報にいがた特集号			11月 新潟日報特集
1月 新潟日報特集			

NP Vol.4(12月) NP Vol.5(4月) NP Vol.6(7月) NP Vol.7(10月) NP Vol.8(12月)

シティドレッシング

ラッピングバス完成発表 アルビレックス新潟 開港マッチ 横浜FC・Vファーレン長崎

Sea級グルメ北陸大会 in 新潟三越(4月)
 全国経済同友会セミナー新潟大会(4月)
 ドイツ領事館記念碑建立(4月)
 日本港湾協会第92回定時総会(5月)

PEACE BANK(8月)
 県立新潟医学校創立の礎となった
 4人の外国人医師顕彰碑除幕式(12月) ほか

みなとオアシスカード+(1月~) 粟島・新潟航路による誘客実験(5~7月)

海岸サマーフェスティバル in 南浜(8月)
 アース・セレブレーション(8月)
 両津七夕まつり・川開き(8月)

にいがた総おどり祭(9月)
 韓日ハンガウィ祭り in 新潟(9月)
 新潟オクトーバーフェスト(10月)

古町地区将来ビジョンの策定

新潟市内小学校の図書室にコーナーを設置

クルーズ船の誘致推進 日本開港五都市観光交流

新潟駅・万代をつなぐ公共空間利活用の推進

都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業

新潟鳥屋野線一部供用開始

新潟駅周辺整備事業

記念事業コア期間

Ⅱ 写真でふりかえる新潟開港150周年記念事業

アニバーサリー

新潟開港 150 周年を記念して行われた数多くのアニバーサリー行事は、実行委員会事業をはじめ、市民団体や民間企業、官公庁などからも取り組まれ大きな広がりを見せた。

地域の総合力を発揮したオール新潟による取り組みが展開されたことで「みなとまち新潟」を盛り上げ、活性化につながった。



事業概要

記念写真

150年をふりかえる

実行委員会概要

機運醸成期間



設立総会 ホテルイタリア軒において、125の構成団体の賛同を得て実行委員会が設立された。



TEAM Nii port 新潟にゆかりのある著名人がスペシャルクルーに就任。
「みなとまち新潟」の魅力発信や「Nii port」ブランドづくりにご協力いただいた。



コマーシャル 2018年1月1日に10秒間のコマーシャルを制作し、民放テレビ4局、民放ラジオ2局で放送。ナレーションは、TEAM Nii port キャプテンの小林幸子さんに務めていただいた。

小林幸子です。1月1日は新潟港の開港記念日。来年2019年は開港150周年です。いよいよ、この夏からさまざまなイベントが始まります。「みなとまち新潟」をみんなでつくりましょう! <汽笛>



シティドレッシング 2018年4月から2019年12月にかけて、新潟市内中心部にバナーを掲出するなど、まちなかを開港150周年色に染め機運醸成を図った。

記念事業コア期間



海フェスタにいがた 2018年7月14日から29日の16日間にかけて、新潟開港150周年のオープニングを飾るキックオフイベントが新潟市、佐渡市、聖籠町をステージに開催。



オープニングイベント 西堀通りにおいてディズニーキャラクターも参加し大規模なパレードを開催。TEAM Nii port スペシャルクルーの皆さんからも多数出演をいただいた。



ブルーインパルス展示飛行 航空自衛隊ブルーインパルスによる華麗なアクロバット飛行の披露。
開港 150 周年を迎えたみなとまち新潟を大きく盛り上げてくれた。(新潟市陸上競技場にて撮影)



ポップサーカス新潟公演



出張!なんでも鑑定団 in 新潟



開港記念日イベント 2019年1月1日は新潟港が開港 150 周年を迎える日。
初詣の参拝者に沸く白山神社周辺の信濃川水面から、午前0時の時報と同時に 150 秒間の花火を打ち上げた。



新潟開港150周年記念式典



記念式典 新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）1階展示ホールにおいて開催。



国家斉唱 TEAM Nii port スペシャルクルー
越乃 リュウ氏



主催者挨拶
会長 中原 八一



主催者挨拶
名誉会長 花角 英世



司会 菊野 麻子氏
(フリーアナウンサー)



主催者席 (前列右から) 中原 八一 新潟市長、花角 英世 新潟県知事、
三浦 基裕 佐渡市長、西脇 道夫 聖籠町長代理 夏井 智毅 副町長
(後列右から) 澤野 修 新潟県議会議長、永井 武弘 新潟市議会議長、
猪股 文彦 佐渡市議会議長、田村 富美男 聖籠町議会議長



ご臨席になる秋篠宮同妃両殿下



ご来賓挨拶
国土交通副大臣 塚田 一郎 様



みなとまち新潟の将来展望 両津中学校、聖籠中学校、新潟大学教育学部附属新潟中学校の生徒による宣言



来賓席 (左から) 塚田 一郎 様 (国土交通副大臣)
下司 弘之 様 (国土交通省港湾局長)
吉岡 幹夫 様 (国土交通省北陸地方整備局長)



手話通訳 青木 由美子 氏
斉藤 由美子 氏 (写真)



TEAM Nii port スペシャルクルー 越乃 リュウ氏

新しい「みなとまち新潟」へ。

はるか昔から、ひとをつなぎ、地域をつなぎ、国をつなぎ、人々の営みや交流、そして文化を育んできた私たちの新潟。開港 150 周年を迎えたいま、新たな挑戦がはじまります。

私たちの新潟は、もっとみんなが誇るまちになります。港をさらに活用することで、物流を中心により広く深く世界とつながり、成長をつづける。そんな、誰もが注目するみなとまちになります。

私たちの新潟は、もっとみんなが元気なまちになります。国内外のさまざまな人々が盛んに行き交い、住む人も訪れる人も、生き活きと交流する。そんな、誰もが活力を感じられるみなとまちになります。

私たちの新潟は、もっとみんなに愛されるまちになります。歴史や文化を生かしつつ、新たなまちづくりをすすめ、出会いや発見、にぎわいをもたらし続ける。そんな、誰もが心からワクワクするようなみなとまちになります。

これからも変わりつづける「みなとまち新潟」へ。それは、どこかの誰かがつくるものではありません。

主役は、ここにいる私たちです。

そしてそれを、次の時代へつなぐのも私たちです。

みなとまち新潟の将来展望 新潟港のこれまでの歩みを映像でふり返るとともに、TEAM Nii port を代表し越乃リュウ氏と佐渡市立両津中学校（ビデオ出演）、聖籠町立聖籠中学校、新潟大学教育学部附属新潟中学校の生徒が「みなとまち新潟」の発展を誓う宣言を行った。



佐渡市立両津中学校

佐渡には、世界遺産登録を目指す佐渡金山、能を始めとする古くから受け継がれる伝統文化があります。そして、寒ブリや天然杉など、食べ物や自然もとても豊かです。しかし、これら佐渡の魅力は、佐渡島外の人には知られていないことも多いように思います。これはとても淋しいことです。

今後、佐渡が世界遺産や世界ジオパークに登録されると、日本中・世界中から多くの人々が訪れ、佐渡は観光で世界とつながる交流の場になります。この素晴らしい佐渡を、もっとたくさんの人に知ってもらいたい。たくさんの人に訪れてもらいたい。私たちの街、両津、そして両津港から実現したいです。

文化の島、佐渡。わたしは、佐渡の文化を継承する人を増やしていきたい。佐渡の豊かな自然を守っていきたい。佐渡を、トキを象徴とする自然と共生するエコアイランドにしたいと考えています。そして、佐渡のおいしい食べ物、豊かな自然、素朴で温かい人情で、「佐渡で働きたい!」という人を増やしていきたいです。

観光の島、佐渡。わたしは、様々な年代や世界中の観光客に向けたコラボ商品を企画してみたい。綺麗な海や山、星空といった佐渡の自然を活かしたお店を営んだり、観光ツアーをつくってみたい。インターネットを通じて、佐渡のたくさんの魅力を世界中に発信したいです。

交流の島、佐渡。僕は、佐渡島内で国内向け・海外向けのイベントをたくさん開催したい。佐渡国際トライアスロン大会、アースセレブレーションなど、いろんなイベントに関わりたい。多くの人に佐渡の魅力を体験してもらいたい。そして、世界中の人が集まり交流を深める場所にしていきたいです。



聖籠町立聖籠中学校

今から50年前、新潟開港から100年目、たくさんの人たちが協力して、聖籠町と新潟市にまたがる場所に新しい「港」を造りました。それが新潟東港です。新潟東港は私たちの暮らしを支える、大切な「港」として発展してきました。

そんな新潟東港にクルーズ船がくるようになりました。新潟東港は貿易港ですが、海外からの観光客が訪れ、様々な国の人と出会う場所にもなろうとしています。新潟東港、聖籠町から生まれたたくさんの人たちとの交流で、新潟県全域を盛りあげていきます。

賑わいの町、聖籠。私は、聖籠を、多くの観光客で賑わう場所にしたいです。港や海岸で、町のみならず一緒に観光客が楽しめるイベントを開催したり、クルーズ船で来る人をおもてなししたいです。聖籠町で多くの人との交流をしたいです。

船が行き交う町、聖籠。新潟東港は、コンテナ船、LNG船、クルーズ船、多くの船が行き交います。私は、新潟東港からクルーズ船に乗って色々な国を旅してみたい。たくさんの方でたくさんの方と出会ってみたいです。

港のある町、聖籠。さくらんぼやぶどう、果物あふれる聖籠。人の温かさあふれる聖籠。そして新潟東港も聖籠の大きな魅力のひとつです。多くの人と聖籠の魅力共有し、これからの聖籠を一緒につくりたいです。



新潟大学教育学部附属新潟中学校

陸と海をつなぐ川湊・新潟市は、モノや人が行き交い、豊かな暮らしや文化を生み出してきました。明治元年、開港によって開かれた世界の港となり、いまでも世界と日本をつなぐ場所となっています。

現在、新潟市では次世代にむけたまちづくりが行われています。古町地区や水辺空間での賑わいづくり。開港150周年を契機とした新たな都市デザインも計画されています。

“つながりを生むまち新潟”は、これからも、人と人・地域と地域をつなぎ、新たな出会いや新たな魅力を生み出すまちでありつづけます。

魅力あふれるまち、新潟市。僕は、日本全国の人たちに、みなとまち新潟の魅力を知ってもらいたい。「人と人とのつながり」を五感で感じるイベントを開催して、多くの人たちに楽しんでもらいたいです。

伝統のまち、新潟市。私は、湊町の伝統文化を次の時代につないでいきたい。新たなまち歩きイベントやお土産づくり。伝統を受け継ぎつつ、時代に合わせて変化させて、新たな“みなと文化”をつくりたいです。

つながりを生むまち、新潟市。新潟が人・モノ・文化の交流拠点となって、日本国内・海外の人や企業や都市とつながるなかで、僕は、世界とつながる仕事に関わってみたいです。

さあ、はじめます。
一緒に未来をつくりましょう！
みんなで作る、「みなとまち新潟」！
スタート！



記念祝賀会 新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）4階国際会議場において開催。
 ①ご入場になる秋篠宮同妃両殿下 ②歓談の輪に入られた秋篠宮同妃両殿下 ③主催者挨拶 会長 中原 八一
 ④乾杯発声 名誉会長 花角 英世 ⑤ご来賓挨拶 国土交通副大臣 塚田 一郎 様



秋篠宮同妃両殿下によるご視察 ①佐潟水鳥・湿地センターをご視察になる秋篠宮同妃両殿下
 ②新潟市立赤塚中学校生徒の発表をお聞きになる秋篠宮同妃両殿下
 ③学習成果を発表する赤塚中学校生徒



⑥ 記念アトラクション 古町芸妓の舞
⑦ 歓談風景1 ⑧ 歓談風景2



会場内パネル ① 設置風景1 ② 設置風景2



NHK のど自慢 全国に向けて開港 150 周年を迎えた新潟港と「みなとまち新潟」を PR するため、番組「NHK のど自慢」を誘致し、公開生放送を行った。(於 新潟テルサ)



Dia Land オープニングフェスタ



JRA 新潟競馬特別レース 柳都ステークス新潟開港 150 周年記念



海上自衛隊東京音楽隊コンサート これからの吹奏楽の可能性を開拓し続ける日本屈指の音楽隊によるコンサートを開港 150 周年を記念して開催。(於 新潟市民芸術文化会館 りゅーとぴあ)



NHK みなとまち新潟音楽祭 県内外に向けてみなとまち新潟を PR するため、新潟ゆかりのアーティストによる音楽イベントを開港 150 周年を記念して開催。(於 新潟テルサ)



新潟東港開港 50 周年記念式典 ①式典風景 ②アトラクション アルビレックスチアリーダーズ ③主催者挨拶 会長 中原 八一
 ④主催者挨拶 名誉会長 花角 英世 ⑤主催者挨拶 副会長 西脇 道夫
 ⑥ご来賓挨拶 国土交通省港湾局長 高田 昌行 様 代読 北陸地方整備局次長 伊藤 博信 様



講演
 演題 国際港湾情勢と地方創生 -推移と展望-
 講師 外航船舶代理店業協会 会長 飯垣 隆三 氏



講演
 演題 新潟東港の誕生とその成果
 講師 元日本港湾協会 会長 元土木学会 会長 栢原 英郎 氏

～みんなで取り組んだアニバーサリー行事～



ジェットfoilドック見学会



日本海エル・エヌ・ジー新潟 LNG 基地見学会



おたこ
白根大凧合戦



コンテナターミナル見学会



第 32 回全国経済同友会セミナー新潟大会



日本港湾協会第 92 回定時総会新潟開催



県立新潟医学校創立の礎となった
4人の外国人医師顕彰碑除幕式



みなとまちロマン新潟で川柳の祭典・国民文化祭



みなとまち新潟の魅力磨き

新潟開港 150 周年は、
みなとまちが育んできた歴史や文化を継承・発展させ、
まちのすばらしさや魅力を再認識し、
みなとまちとしてのブランドイメージを再構築するなど、
これを国内外に向け積極的に発信していくためのスタートの機会となった。
みなとに親しみや愛着を持っていただくため、
「みんなでつくる、みなとまち新潟 スタート!」を合言葉に、
都市アイデンティティの形成に地域が一体となって取り組んだ。



プレシンポジウム 「みなとまちの宝を磨いて」と題してシンポジウムを開催。 ①会場風景
 【基調講演】 演題：みなとまち新潟の繁栄の歩み ②講師：原 直史 氏（新潟大学人文学部 教授）



フォトコンテスト 【一般の部】 ①大賞：華やかなひと時 ②優秀賞：出船棧橋 ③優秀賞：港からの旅立ち
 【学生の部】 ④優秀賞：みなとまち、映る。 ⑤優秀賞：港町の橋の間から



みなとまちスイーツ開発プロジェクト 波と雪のパンケーキ 宣伝・PR プロジェクト 古町芸妓 × 企業 記者会見



【パネルディスカッション】テーマ：みなとまち新潟の宝
 パネリスト：③越乃 リュウ氏（元宝塚歌劇団月組組長）④あおい氏（古町芸妓）
 ⑤小島 富美子氏（NPO 法人にいがた湊あねさま倶楽部 代表）⑥篠田 昭氏（新潟市長）



魅力発信 みなとまち新潟フォトコンテストと同時に「Instagram 部門」と「アーカイブ部門」として写真を募集。集まった写真をもとにタペストリーを制作し魅力発信に活用。



販わい創造プロジェクト ① Negicco バスラッピングデザイン制作 記者会見 ② 完成発表会・試乗会 ③ みなとまちラッピングバス 通称「ネギバス」



新潟エンジン 02 新潟市では2007年の「エンジン01 オープンカレッジ」以来、11年ぶりの開催。開港150周年を迎える記念すべき年に著名講師陣が集結し、計15講座を実施。



記念講演会 「みなとまちの魅力再発見」と題して記念講演会を開催。
 【基調講演】 演題：イザベラ・バードー旅の生涯と日本の旅そして新潟 講師：金坂 清則氏（京都大学 名誉教授・地理学者）
 【パネルディスカッション】 テーマ：みなとまちの魅力再発見
 パネリスト：神田 勝郎氏（北方文化博物館 館長） 野内 隆裕氏（路地連新潟 代表）
 伊藤 頼子氏（新潟イザベラ・バード研究会 代表） コーディネーター：小野沢 裕子氏（フリーアナウンサー）



写真展 「ツイン・タイム・トラベル イザベラ・バードの旅の世界」
 イザベラ・バードの旅をたどり、金坂 清則氏（京都大学 名誉教授・地理学者）が25年かけて撮影した93点の写真などを展示。

～みんなで取り組んだ魅力磨き～



新潟島エリア



沼垂エリア



沢海エリア



岩室エリア



新津エリア



鳥屋野エリア

新潟ストーリープロジェクト 新潟駅を起点にエリアごとの食・自然・伝統文化等の魅力がストーリーでつながる観光エリアづくりを官民連携により展開。



みなとまち新潟を巡るオープントップバス



地元食材を味わい景色を楽しめるレストランバス



みなと 湊まち新潟歴史ウォーク



みなと新潟光の響演



小学6年生によるシティガイド



みなとオアシスカード+



西郷隆盛の新潟・松浜滞陣



黒埼 PA イルミネーション



開港 150 周年記念給食 新潟市内 155 校・園で実施



新潟市内小学校の図書室にコーナーを設置



市報にいがた・特集



開港場新潟展



新潟市広報テレビ・特集



水辺整備事業（やすらぎ堤地区）



ペットボトル水製造



記念商品 発売件数 59 件／制作企業・団体等 30 機関は以下の通り。

株式会社きくや、新潟県観光物産株式会社、株式会社ニュース・ライン、日本郵便株式会社信越支社、サッポロビール株式会社、一正蒲鉾株式会社、新潟県酒類販売株式会社、アサヒビール株式会社、nemon accessory、株式会社第一印刷所、Restaurant 80 万人のためのフレンチ OV [オヴィ]、旬亭越後うさぎ茶屋、株式会社鈴木コーヒー、雪国柳都山吹園、岡田海苔株式会社、佐渡ファンクラブ、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、山崎製パン株式会社新潟工場、雪国あられ株式会社、ダイヤモンド社、新潟市、モスバーガー、株式会社ブルボン、関東・中部・東北ブロック1道 22 県 11 指定都市、新潟小学校×古町通6番町商店街、新潟菓子処菓菓亭、株式会社丸屋本店、株式会社大阪屋、岩舟屋、エースタック株式会社
(発売日順) ※写真は一部商品に限る

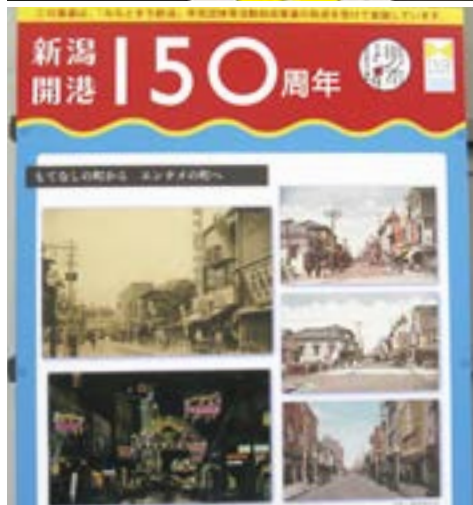
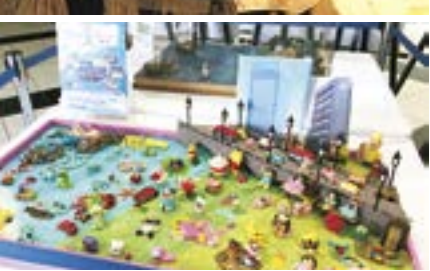


売り上げの一部を寄付 サッポロビール株式会社 様



売り上げの一部を寄付 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 様

街角で見かけたみなとまち新潟の魅力磨きの一コマ





事業概要

記念写真

150年をふりかえる

実行委員会概要

みなとまちの賑わいづくり



記念事業は、2018年の6月までを機運醸成期間、
7月からをコア期間として、多彩な事業を展開してきた。
港湾エリアなどでの大規模イベントの誘致・開催に努めるなど、
多くの来街者から水辺空間や港といった新潟の特性を
身近に感じてもらえるようにと、
みなとまちイベントの充実を図り交流人口の拡大につながった。



新潟開港 150 周年 —キックオフイベント—



メインビジュアル

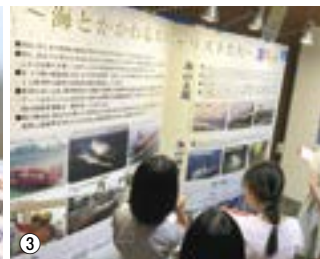
海フェスタにいがた 2018年7月14日から29日の16日間にかけて開催。



①



②



③

海の総合展 新潟日報メディアシップなどを会場に開催。①入場ゲート風景
②出展ブース風景 ③会場風景



①



②



③



④

船舶一般公開 ①護衛艦「ひゅうが」 ②海洋気象観測船「啓風丸」 ③練習帆船「海王丸」
④夜間イルミネーション点灯・練習帆船「海王丸」



①



②



③



④



⑤



⑥

⑦

船舶体験航海 ①実習船「くびき」 ②帆船「Ami」 ③巡視船「えちご」 ④実習船「海洋丸」
⑤帆船「みらいへ」 ⑥⑦セイルドリル体験・帆船「みらいへ」

海フェスタにいがた・水と土の芸術祭 2018



海フェスパーク ①会場風景 ②海フェスキッズレストラン ③海フェス カフェ ④海フェス スマスタ海の家
⑤海フェスランド ⑥海フェス ステージ



オープニングパレード

JIN ROCK "UMI" FESTIVAL

"UMI" DANCE SUMMER FES



帆船「みらいへ」で行く親子ツアー 越佐海峡を親子でいろいろなアクティビティを体験しながら航海。

水と土の芸術祭 2018 2018年7月14日から10月8日の87日間にかけて開催。



メイン会場・万代島多目的広場 ①会場風景 ②作品：Soft Circuit Fish Loop



砕氷艦「しらせ」一般公開



左) 宮崎 好司 艦長 右) 田中 昌直 新潟県交通政策局副局長



護衛艦「みょうこう」一般公開



左) 小野田 勲 新潟県港湾整備課長 右) 牧 孝行 艦長



Nii port フェスタ 2019 未来を担う子どもたちをターゲットに学び・楽しみを提供。



CUT IN PARK 2019 若者に人気のストリートスポーツイベントを開催。





にいがたおおかまキッズランド



沼垂テラス商店街・朝市



信濃川感謝祭 やすらぎ堤川まつり



FOOD SONIC in 新潟



東京ラーメンショー in 新潟



萬代橋サンセットカフェ



開港 150 港スーパーカーフェスタ



開港 150 新潟ミュージックシーンフェス in 万代テラス



ミズベリング信濃川やすらぎ堤



海岸サマーフェスティバル in 南浜



全国ねぎサミット 2018 in にいがた



FULUMATi DISKO 【フルマチ・ディスコ】



～開港 150～ にいがたクラフトビールランド



新潟まつり



PEACE BANK 新潟青年会議所 65 周年ー



わんにゃんカーニバル♪ 2019 in 大かま



にいがた総おどり祭



新潟オクトーバーフェスト



みなとオアシス Sea 級グルメ北陸大会 in 新潟三越



アース・セレブレーション



両津えびす祭り



一期一音 -開港 150 周年記念-



両津七夕まつり・川開き



Sea 級グルメ全国大会 in 佐渡



①

都市間交流



明治五年頃の
銅谷白洋

川
—河川流域—

海
—沿岸地域—

まち
—地形—



②

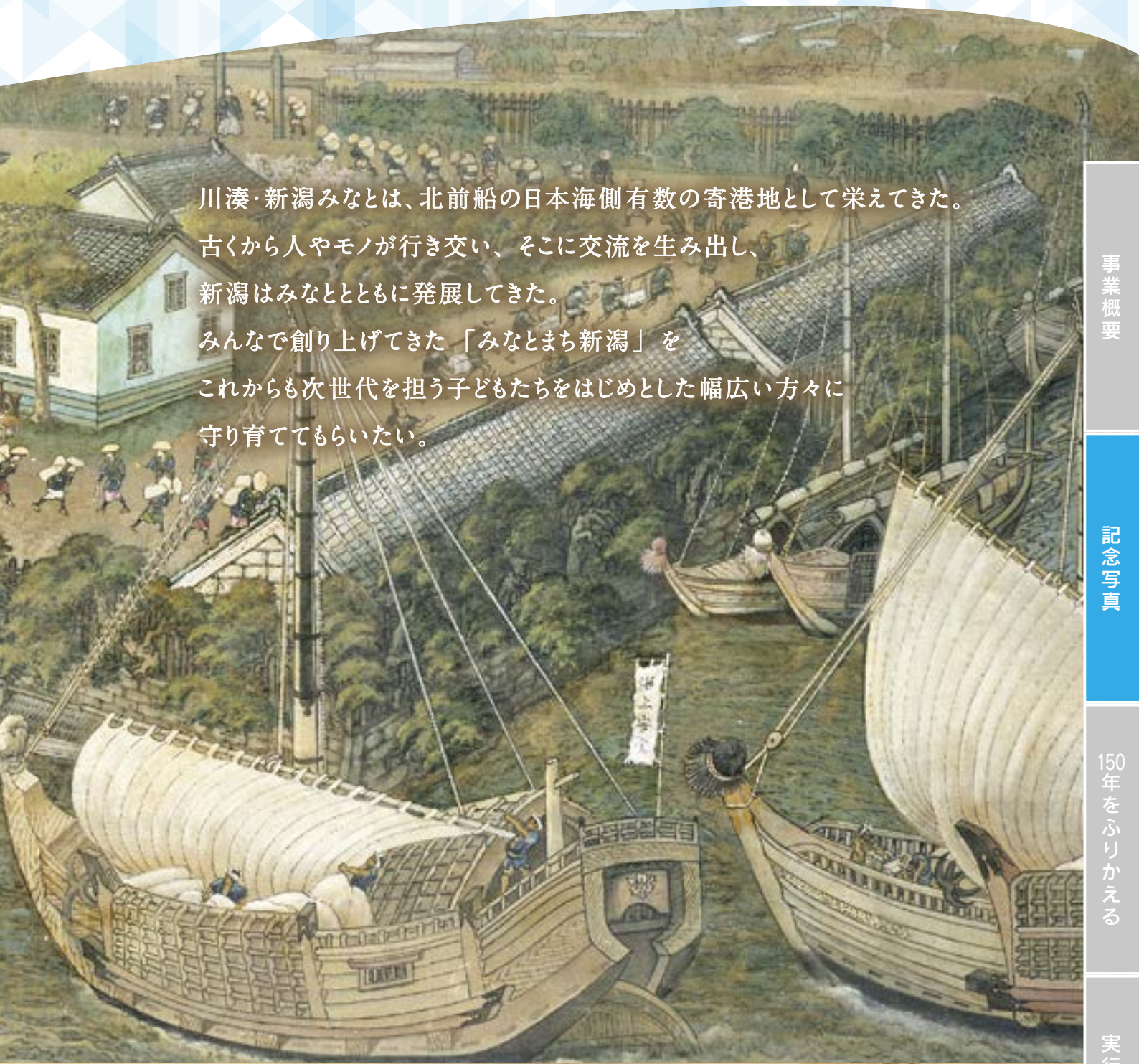


③



④





川湊・新潟みなとは、北前船の日本海側有数の寄港地として栄えてきた。古くから人やモノが行き交い、そこに交流を生み出し、新潟はみなととともに発展してきた。みんなで創り上げてきた「みなとまち新潟」をこれからも次世代を担う子どもたちをはじめとした幅広い方々に守り育ててもらいたい。

交流

—人・モノ・情報・文化—



子ども流域連携体験交流



舟運文化 モノの輸送がかつては船だったことを学び、北前船のことを知る。



塩づくり体験 川を通じて運ばれた生活に欠かせない「塩」づくりを体験。



河川流域 長野や福島から流れ出る川の水が新潟にたどりついていることを学ぶ。



鍛冶体験 包丁や農機具などの金物も川を通じて運ばれたモノの一つ。



交流 さまざまな学習や体験を通じて新潟、長野、福島の子どもたち同士の交流が図られた。



資源観察 秋葉丘陵で産出する原油や天然ガスを見学。海の恵みであることを学ぶ。

— 川もり海もり調査隊 — 新潟×長野×福島

川もり海もり調査隊

信濃川、阿賀野川でつながる新潟、長野、福島3県の子もたちが、川と日本海についてともに学び合い、交流と連携を深めるための取り組みを進めようと結成された調査隊です。



この取り組みは、日本財団 海と日本プロジェクトの一環として行われたものです。



エネルギー 日本海側最大のエネルギー供給基地を見学。海を通じて天然ガスが運ばれている。



生き物探し 川や海は、私たちの暮らしに多くの恵みを与えてくれる。地引き網や海水浴を通じて、海の生き物について学ぶ。お魚マイスターからは魚の食べ方などを教わった。



港の学習 新潟西港にある水理実験場の見学や、大型浚渫兼油回収船「白山」の説明を受けるなど港の重要性や大切さについて学んだ。



みなとまち新潟探検隊

みなとまち新潟探検隊

小中学生とその親子を対象に、新潟港のゆかりの地を訪ね、その役割や歴史について考えようと結成された探検隊です。



新潟砂丘と川跡 新潟は、信濃川と阿賀野川が運んだ砂丘の上にてきたまちであることを学ぶ。阿賀野川の旧流路や砂丘のことをイメージしながら新潟砂丘の歴史に触れた。



日和尚山登山 日本遺産構成文化財を見学しながらゴールの日和尚山を目指した。

開港のまちめぐり イザベラ・バードの旅の足跡をたどってまちを歩いた。



水位差 山の下閉門排水機場こうもんでは、実際に海と川の水位差を見学した。閉門操作の様子や機械の力によって川の水位を維持・調整していることを学んだ。



粟島・新潟航路による誘客実験



クルーズ船の誘致推進



開港五都市 ①開港マッチ PR プロジェクト ②日本開港五都市観光交流



ドイツ領事館記念碑建立



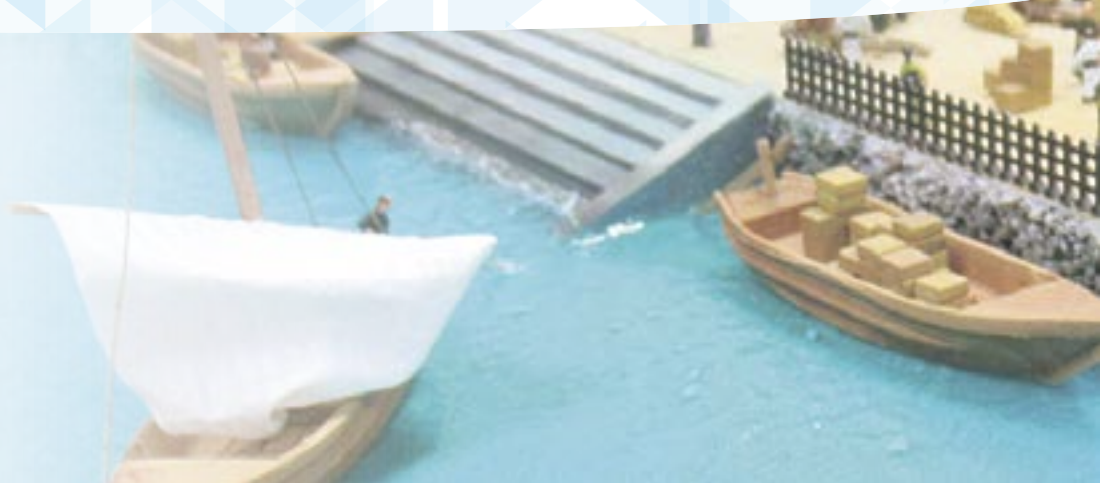
姉妹・友好都市（新潟市）との交流



日本語スピーチコンテスト in Niigata



韓日ハンガウイ祭り in 新潟



Unbeaten Tracks in Japan, Vol.1(1880)に収められた銅版画「通りと堀」



①

『完訳日本奥地紀行2』による、『新訳日本奥地紀行』と同じ



記念フォーラム 「つながる地域、広がる都市間交流」をメインテーマに新潟開港 150 周年を契機とした、さらなる地域連携の可能性について考えるフォーラムを開催。
 【基調講演】 演題：イザベラ・バードの新潟の旅と活写された新潟 ①講師：金坂 清則氏（京都大学 名誉教授・地理学者）



⑦



⑧

プライベート
 【まち歩き】 イザベラ・バードと明治の新潟コース / 新潟シティガイド
 ⑦まち歩き風景



みんなでつくる、みなとまち新潟

事業概要

記念写真

150年をふりかえる

実行委員会概要



【パネルディスカッション】テーマ：さらなる交流拡大に向けて
 パネリスト：②渋川 恵男氏（会津若松商工会議所 会頭） ③高岡 はつえ氏（沼垂テラス商店街 統括マネージャー）
 ④中原 八一氏（新潟市長） ⑤室井 照平氏（会津若松市長） コーディネーター：⑥野内 隆裕氏（路地連新潟 代表）



【トークセッション】テーマ：イザベラ・バードでつながり、新潟を発信しよう！ / 新潟イザベラ・バード研究会
 ⑧会場風景 ⑨⑩出演者

次世代のまちづくり



新潟開港 150 周年を契機に、未来に向かってまちづくりを
考えようとする機運も高まった。

新潟駅の高架化や新潟空港の国内線・国際線の増便が進められるなど、
新潟のまちは、環日本海のゲートウェイとして機能強化が期待されている。

人・モノ・情報が行き交う「みなとまち新潟」へと
新たなまちづくりの船出を飾った。

五つのゾーンそれぞれで特徴あるまちづくりを展開



新潟都心の都市デザイン

都市アイデンティティとしてのまちづくりを進めるため、開港 150 周年という節目に新潟県と新潟市が共同で策定。



万代島地区将来ビジョン

新潟西港万代島地区のさらなるにぎわい創出を図るため、新潟西港・水辺まちづくり協議会や利用者、関係企業など、多くの個人・団体より寄せられた意見やアイデアを踏まえ策定。

次の150年
みんなでつくろう

みなとまち新潟

積み重ねられた歴史が育んだ
みなとまち文化は、これからの新潟をつくる原動力。
新たな新潟の創造に向け、それぞれが動き始めている。
「みなとまち新潟」という目標像に向かって
それぞれが思い描いていこう。



記念シンポジウム【基調講演】 演題：開港 150 周年の新潟のまちづくり ①会場風景
 【パネルディスカッション】 テーマ：Starting port- みなとまち新潟の新たな船出
 ②基調講演講師・アドバイザー 西村 幸夫 氏（東京大学 名誉教授・神戸芸術工科大学 教授）
 ③コーディネーター 菊野 麻子 氏（フリーアナウンサー） パネリスト ④高橋 すみ 氏（料亭鍋茶屋 女将）
 ⑤中原 ハー 氏（新潟市長） ⑥花角 英世 氏（新潟県知事） ⑦野内 隆裕 氏（路地連新潟 代表）



万代島にぎわいみなと創造事業 万代島地区将来ビジョンの施策検討に着手。集客力のある施設間のアクセス向上や景観づくり、新たな施設誘致による賑わい空間づくりを関係者と一緒推進。



新潟港西港地区整備事業 信濃川河口に位置する西港地区の港内埋没を防ぐため、浚渫及び第二西防波堤整備を実施。明治 42 年からの継続事業。（右写真：新潟市歴史博物館蔵）



旧新潟税関庁舎等整備活用事業 開港五港で唯一現存する税関遺構を、開港150周年を契機として耐震対策や内外装の保存修理工事を実施。



新潟駅周辺整備事業



新潟駅・万代をつなぐ公共空間利活用の推進



景観形成の推進



古町地区将来ビジョンの策定



消防艇更新整備



都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業

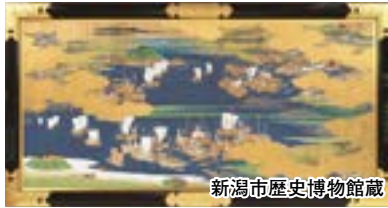
Ⅲ みなとまち新潟の150年をふりかえる

新潟湊の繁栄

～

開港

コト



新潟市歴史博物館蔵

大船絵馬（複製）
新潟湊と、大坂・江戸へ向かう回米船を描いた絵図



新潟市歴史博物館蔵

蟹の手振り
北前船の日本海側有数の寄港地となった新潟湊が大きく栄えた様子



新潟市歴史博物館蔵

新潟湊之真景
外国船が来航した様子を描いた絵図（1859年）

ヒト



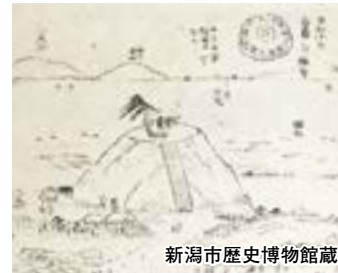
新潟県立歴史博物館蔵

堀 直寄
新潟町のまち並みの基礎を作った長岡藩主



提供：酒田市

河村 瑞賢
1672年に西回り航路を整備した人物



新潟市歴史博物館蔵

長谷川 雪旦 北国一覽写
1831年に新潟町を訪れた、江戸の町絵師。上図は1831年頃の日和山



新潟市歴史博物館蔵

川村 修就
海防に尽力した初代新潟奉行

江戸時代

まち



信濃川の河口にあった蒲原津。記録に現れる新潟市域最初の湊（推定）



松ヶ崎悪水吐御普請絵図
1730（享保15）年に災害を防ぐため、水を海に流す松ヶ崎堀割を開削



新潟市歴史博物館蔵

文政六（1823）年写新潟町絵図
堀と通りで区画された新潟町を描いた絵図



提供：佐渡市教育委員会

佐渡夷港なくして新潟開港は成し得なかった。上図は江戸時代後期の夷港を描いた絵図

社会情勢

江戸幕府は外交・貿易を制限する対外政策を行い、1639（寛永16）年から1854（安政元）年の日米和親条約締結まで200年余の長きにわたって日本は鎖国状態にあった。

徳川家康が江戸に幕府を開いて240年もの月日が流れ、幕藩体制も老衰の兆しが顕著となり始めた頃の1844（弘化元）年にオランダ軍艦が長崎に来港。米・英・仏・露などの欧米先進国が日本を訪れ開国を求めようになった。

- 1853 ペリーが浦賀に来航
- 1854 日米和親条約の締結
- 1858 日米修好通商条約（安政の五カ国条約）の締結
- 1859 箱館・横浜・長崎開港
- 1867 大政奉還、江戸幕府の滅亡
- 1868 戊辰戦争
神戸開港

文明開化 ～ 振るわぬ外国貿易 ～ 北洋漁業家の活躍

1869 新潟開港

開港後イギリス、ドイツ、オランダ、アメリカ領事館が開設されたが貿易は伸び悩み、1882年までに全ての領事館が撤退した

1874 新潟ー長岡間に川蒸気船の運航開始

1889 帆船魁丸でロシアとの直行貿易を開始

1896 新潟ー函館ーウラジオストク航路の開設 (大家商船)

1907 新潟ーウラジオストク間に直通航路の開設 (越佐汽船会社)



提供：鈴木英介

北の海へにぎわいと輸出実績をもたらしたのは、新潟から北の海へこぎ出した北洋漁業家たちだった。



新潟市歴史博物館蔵

楠本 正隆
1872年 二代目の県令として着任し様々な開化政策を実施



提供：日和山五合目

イザベラ・バード
1878年 開港間もない新潟を訪れたイギリス人女性



提供：土木学会附属図書館

古市 公威
1884年～86年 内務省土木局で信濃川河口修築工事を監督



新潟市歴史博物館蔵

伏見 半七
ウラジオストクとの交流に情熱を注いだ人物



提供：田代早苗

田代 三吉
明治末期の代表的な個人漁業家

明治 1868-1912

1869 新潟運上所の開所
初代灯台の設置

1870 政府が水原県を廃止し新潟県を設置

1873 新潟遊園 (後の白山公園) の開園
第四国立銀行の設立

1880 新潟区で町の半分が焼ける大火

1883 県会議事堂 (現新潟県政記念館) の開館

1886 初代萬代橋の開通
信濃川河口修築工事の着工

1889 新潟市制の施行

1896 横田切れ・木津切れ

1897 北越鉄道開通 (沼垂ーノ木戸間)

1904 初代新潟駅 (弁天町) の開業

1908 新潟市で二度の大火・初代萬代橋が焼失

1909 二代目萬代橋の開通

1910 浚渫船による新潟港浚渫の開始

1869 東京に遷都

1871 郵便制度開始

1875 樺太千島交換条約の締結

1894 日清戦争

1904 日露戦争

1907 日露漁業協約

※特に表記のないものは新潟市所蔵

新潟港築港

～

戦時下の興隆

戦後復興

～

コト

- 1917 新潟築港の着工（市営）
- 1921 新潟築港工事を県営移管
- 1922 大河津分水の通水
- 1924 臨港鉄道の開通
- 1926 県営埠頭の完成

- 1929 信濃川両岸の埋立工事の着工
- 1931 臨港埠頭（民間開発埠頭）の完成
- 1935 新潟－北朝鮮航路の開設（政府命令航路）
- 1938 新潟港を満州開拓移民出港基地に指定
- 1945 港の封鎖（アメリカ軍の新潟港機雷投下）
- 1952 機雷掃海が完了し、新潟港の安全を宣言
- 1959 新潟港を出港する北朝鮮帰還事業の開始

ヒト

- 1920 新潟臨港株式会社の設立

- 1932 佐渡汽船の設立
- 1943 運輸通信省第一港湾建設部の設置
- 1946 新潟港復興期成会の結成
- 1947 新潟港海運復興会議の設置
- 1948 海上保安庁の設置（掃海の本格化へ）



築港の埋め立て工事



新潟臨港第二埠頭における肥料荷役

大正 1912-1926

昭和 1926-1989

まち

- 1914 新潟市と沼垂町の合併
岩越線（現磐越西線）の全線開通
- 1922 新潟市内で路線バスの運行開始
（新潟市街自動車株式会社）
- 1926 新潟築港記念博覧会

- 1929 三代目萬代橋の開通
- 1930 新潟市営飛行場（現新潟空港）の供用開始
- 1931 上越線の全線開通
- 1933 新潟電鉄（県庁前一燕）全線開通
- 1936 東京－新潟航空路の旅客輸送の開始
（日本航空輸送株式会社）
- 1955 新潟大火
- 1958 新・新潟駅（花園町）の開業

社会情勢

- 1914 第一次世界大戦の開始
- 1917 ロシア革命
- 1923 関東大震災

- 1929 世界的な大不景気（世界恐慌）
- 1931 満州事変
- 1937 日中戦争
- 1939 第二次世界大戦の開始
- 1941 太平洋戦争
- 1946 日本国憲法の公布
- 1950 朝鮮戦争
港湾法の公布
- 1951 サンフランシスコ平和条約の締結

新潟地震 ～ 高度成長

新潟港の機能分担

- 1963 新潟東港の着工
- 1964 新潟港新潟地震復旧工事の着工
- 1966 新潟市水産物卸売市場（万代島）の完成
- 1967 新潟一両津航路のカーフェリー運航開始
新潟港が特定重要港湾に指定
開港 100 年・新潟震災復興記念新潟大博覧会
- 1969 新潟東港開港



新潟市歴史博物館蔵

工事が始まった新潟東港。工業港としての機能を担う

- 1972 関屋分水路の通水
- 1974 日本海フェリー敦賀ー新潟ー小樽航路の開設
- 1977 新潟一両津航路のジェットフォイル運航開始
- 1979 新潟東港に石油備蓄基地の完成
- 1981 フェリー基地（万代島）の完成

- 1961 新潟工業港整備促進協議会の設立



新潟市歴史博物館蔵

新潟臨港第一埠頭における須磨丸石炭荷役



新潟地震で被害を受けた新潟港



商業港としての機能を担う新潟西港（1983年頃）『新潟の港湾』から



新潟東港のLNG専用バースに接岸するLNGタンカー

- 1977 新潟石油共同備蓄株式会社の設立
- 1978 日本海エル・エヌ・ジー株式会社の設立

- 1964 新潟地区が新産業都市に指定
第19回国民体育大会（新潟国体）新潟地震
- 1969 旧新潟税関庁舎が国の重要文化財に指定



地盤沈下の影響や自動車交通の進展に伴い、1964年には全ての堀が埋め立てられた。写真は昭和30年代の西堀

- 1972 新潟バイパス・亀田バイパスの開通
- 1973 新潟ーハバロフスク定期航空路の開設
- 1982 上越新幹線（新潟ー大宮）の開業
- 1985 関越自動車道の全線開通
- 1987 やすらぎ堤（信濃川左岸）の供用開始
- 1988 北陸自動車道の全線開通

- 1960 国民所得倍増計画を閣議決定
- 1962 第一次全国総合開発計画を閣議決定
新産業都市建設促進法の公布
- 1964 東京オリンピック
- 1965 ベトナム戦争

- 1972 第一次オイルショック
- 1975 石油備蓄法の公布
- 1987 国鉄の分割・民営化、JRの発足

防災・交流拠点 ～ みなとを活かした新たなまちづくり

コト

- 1991 海の祭典の開催
- 1995 新潟港が中核国際港湾に指定
- 1998 新潟港開港 130 周年記念事業
- 1999 信濃川ウォーターシャトルの運航開始
- 2002 柳都大橋・新潟みなとトンネルの開通
- 2003 朱鷺メッセ（万代島）の開業
- 2008 新潟港開港 140 周年記念事業
- 2011 新潟港が日本海側拠点港に選定
- 2017 新潟開港 150 周年記念事業（～ 2019）
- 2018 万代島多目的広場の供用開始
海フェスタにいがたの開催



新潟西港
古くから川湊の特徴を活かし、日本海側最大の湊として繁栄。現在は人流を中心とし、にぎわいを創出するエリア



新潟東港
第一次全国総合開発計画により開発された掘り込み港。物流を中心とする工業港で大型クルーズ船も寄港

平成 1989-2019

令和 2019-

まち

- 1989 新新バイパスの全線開通
- 1997 磐越自動車道の全線開通
- 2004 新潟市歴史博物館みなとびあの開館
- 2007 新潟市が本州日本海側初の政令指定都市に指定
- 2017 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～が日本遺産に認定
- 2018 新潟駅高架化第一期の開業
新潟都心の都市デザインの策定
白山公園が名勝に指定
- 2019 万代島地区将来ビジョンの策定

社会情勢

- 1995 阪神・淡路大震災
- 2002 2002FIFA ワールドカップ開催
- 2003 イラク戦争
- 2004 新潟県中越地震
- 2007 新潟県中越沖地震
- 2011 東日本大震災

▶ 関連書籍・文献

<参考文献>

- 『新潟開港百年史』 新潟市発行
- 『図説 新潟開港一五〇年史』 新潟市発行
- 『新潟歴史双書1 新潟湊の繁栄』 新潟市発行
- 『新潟歴史双書3 新潟歴史物語』 新潟市発行
- 『新潟歴史双書7 新潟港のあゆみ』 新潟市発行
- 『新潟市のあゆみ』 新潟市発行
- 『新潟開港150周年記念資料集 明治のにいがた一地図・写真一』 新潟市歴史博物館発行
- 『日本の港湾政策—歴史と背景—』 株式会社成山堂書店発行
- 『新潟港修築史』 運輸省第一港湾建設局新潟港工事事務所発行
- 『一般社団法人 新潟港振興協会 半世紀の軌跡SINCE1968』 一般社団法人新潟港振興協会発行
- 『2019年開港150周年に向けて みなと新潟』 一般社団法人新潟港振興協会発行
- 『北の海へ 新潟港の明治・大正・昭和』 新潟日報事業社発行
- 『佐渡汽船100年史』 佐渡汽船株式会社発行
- 『湊町新潟に伝承する文化・芸能の歴史的資料』 財団法人東日本鉄道文化財団発行



図説 新潟開港一五〇年史

発行 新潟市
発行年月 2018年11月
定価 1,200円(税込)

新潟港は、江戸時代の新潟湊の繁栄を基盤として開港五港の一つに選ばれ、それは市民の誇りでありアイデンティティである。開港後は国の政策に翻弄されながらも、港を中核として新しい時代に対応しつつ、発展を遂げてきた150年の歴史がまとめられた、「港町新潟」を考えるための出発点となる一冊。



新潟開港150周年記念資料集 明治のにいがた 一地図・写真一

発行 新潟市歴史博物館
発行年月 2019年9月
定価 1,000円(税込)

明治初期の新潟の町をとらえた写真資料や、明治末期に至る地図資料を収録。開港当時の景観を地図と写真で一体的にとらえるとともに、明治時代における町の移り変わりを地図でたどることで、開港に直面し大きく変化していく新潟を視覚的にとらえることができる。



柳都新潟 古町芸妓ものがたり

著者 小林 信也
発行 ダイヤモンド社
発行年月 2018年10月
定価 1,600円+税

江戸時代から明治期にかけて賑わった日本海航路の主役、北前船。その最大の寄港地として発展した新潟の湊。そこでの商いで潤う豪商や名にし負う米どころの豪農たちの繁栄が華やかな花柳界と芸妓文化をこの地に育んだ。柳都と称される港町の粋、古町芸妓が脈々と継承してきた和の文化の神髄を物語でつづる。

IV 実行委員会について

▶ 基本方針

1 みなと文化の深化と次世代への継承

地域のみなさまが、新潟がみなととともに発展してきた歴史を再認識し、みなとに親しみと愛着を持っていただくための取り組みを推進します。

また、次世代を担う子どもたちをはじめとした幅広い方々に、みなとまちが育んできた文化を継承するための事業を推進します。

2 みなとまちを中心とした新潟ブランドの情報発信

みなとまちの歴史や文化をはじめとする多様な地域資源を活かしたブランドイメージの再構築を図るとともに、これらの魅力を統一コンセプトのもと、国内外に向け積極的に発信します。

3 新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築

日本海側の国際拠点港湾・総合拠点港という機能を活かした対岸諸国をはじめとする諸外国との物流・交流を強化するとともに、開港5都市をはじめ、北前船の寄港地や、川湊でつながる都市間連携を構築します。

4 港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造

港湾エリアを中心とした水辺空間の利活用や、クルーズ船、大規模イベント等の誘致により、新潟の特性を活かした賑わいを創造します。

5 活気と魅力があふれる「みなと」の創出

新潟港の利用促進に向け、港湾施設の物流・交流の拠点性を高めるための施設整備を推進するとともに、人々が親しみやすい港湾環境等となるよう取り組みます。



新潟開港150周年記念事業実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、新潟開港 150 周年記念事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 新潟開港 150 周年を過去から未来へと紡ぎ、新しい新潟を切り拓くスタートの機会として位置づけ、みなとまちの育んだ歴史や文化を継承・発展させ、地域の誇りを醸成するとともに、拠点性の向上やまちづくりを推進し、国内外からの交流人口の拡大や地域の活性化につなげていくために必要な事業を行うことを目的とする。

(事業)

- 第3条 新潟開港 150 周年記念事業は、実行委員会が実施する主催事業、実行委員会構成機関、企業・団体等が実施する連携事業及び官公庁等が実施する関連施策で構成する。
- 2 実行委員会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1)主催事業の企画及び実施に関すること
 - (2)主催事業及び連携事業の総合的な調整及び全体計画に関すること
 - (3)連携事業の支援に関すること
 - (4)協賛等の誘発に関すること
 - (5)記念事業全体の広報に関すること
 - (6)その他目的を達成するために必要な事項に関すること

(構成)

第4条 実行委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。ただし、会長が必要と認めるときは、別表に掲げる委員以外の新たな委員を任命することができる。

(役員)

- 第5条 実行委員会に次の役員を置く。
- (1)名誉会長 1名
 - (2)会長 1名
 - (3)副会長 6名
 - (4)監事 2名
- 2 名誉会長は、新潟県知事をもって充てる。
- 3 会長は、新潟市長をもって充てる。
- 4 副会長は、佐渡市長、聖籠町長、新潟商工会議所会頭、新潟経済同友会筆頭代表幹事、株式会社新潟日报社代表取締役社長及び一般社団法人新潟港振興協会会長をもって充てる。
- 5 監事は、一般社団法人新潟青年会議所理事長及び新潟市副市長をもって充てる。

(役員職務)

- 第6条 名誉会長は、会長の求めに応じ、実行委員会に対して助言を行う。
- 2 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、その職務を代行する。
- 4 監事は、実行委員会の会計を監査する。

(名誉顧問及び顧問)

- 第7条 実行委員会に名誉顧問及び顧問を置く。
- 2 名誉顧問及び顧問は、会長が指名する者をもって充てる。
- 3 名誉顧問及び顧問は、会長の求めに応じ、実行委員会に対して助言を行う。

(任期)

- 第8条 委員、名誉顧問及び顧問の任期は、実行委員会が解散するまでとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、委員に就任した者が、その属する団体において就任したときの役職を離れたときは、当該委員の任期は当該役職にあった日までとする。
- 3 前項の規定により委員が欠けたときは、前任者の属していた団体において当該者の後任となった者が委員に就任するものとする。

(総会)

- 第9条 実行委員会の総会（以下「総会」という。）は、会長が招集し、議長となる。
- 2 総会は、次の各号に掲げる事項を審議し、議決する。
- (1)規約の制定及び改廃に関すること
 - (2)事業計画、予算及び決算に関すること
 - (3)前2号に掲げるもののほか、会長が特に必要と認める事項
- 3 総会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 前各項の規定にかかわらず、会長が特に必要と認めるときは、審議すべき事項について、書面により委員に可否を求め、議決に代えることができる。また、第5条で規定する役員で構成する役員会により、各役員に可否を求め、議決に代えることができる。
- 5 会長が必要と認めるときは、委員以外の者に総会への出席を求めることができる。

(幹事会)

- 第10条 実行委員会に幹事会を置く。
- 2 幹事会の委員は、実行委員会の委員が属する構成機関から、会長が委嘱する者とする。
- 3 幹事会は、次の事項について審議する。
- (1)実行委員会に付議すべき事項に関すること
 - (2)その他会長が必要と認める事項に関すること
- 4 幹事会の所掌事務のうち新潟東港 50 周年記念事業に関する事務を分掌させるため、幹事会に新潟東港 50 周年記念事業部会を置く。

(専決処分)

- 第11条 会長は、総会で議決すべき事項について、総会を招集するいとまがないときは、専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、総会に報告し、承認を求めなければならない。

(事務局)

- 第12条 実行委員会の事務を処理するため、新潟市役所に事務局を置く。
- 2 事務局に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(会計)

- 第13条 実行委員会の経費は、負担金、協賛金及びその他の収入をもって充てる。
- 2 事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、平成 29 年度については、実行委員会が設立された日に始まることとし、終了年度は実行委員会解散した日をもって終了することとする。
- 3 新潟東港 50 周年記念事業に関する経理を一般の収入支出と区分するため、新潟東港 50 周年記念事業特別会計を設置する。

(解散)

- 第14条 実行委員会は、事業の目的が達成したときは、総会の議決を経て解散する。
- 2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

(補則)

- 第15条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この規約は、平成 29 年 3 月 28 日から施行する。

附則

この規約は、平成 29 年 8 月 4 日から施行する。

附則

この規約は、令和元年 6 月 17 日から施行する。

新潟開港150周年記念事業実行委員会 顧問・委員名簿

名誉顧問

駐新潟大韓民国総領事館 総領事	鄭 美愛
在新潟ロシア連邦総領事館 総領事	セルゲエフ M. A.
中華人民共和国駐新潟総領事館 総領事	孫 大剛
衆議院議員	西村 智奈美
衆議院議員	鷺尾 英一郎
衆議院議員	黒岩 宇洋
衆議院議員	菊田 真紀子
衆議院議員	泉田 裕彦
衆議院議員	高鳥 修一
衆議院議員	石崎 徹
衆議院議員	斎藤 洋明
衆議院議員	細田 健一
参議院議員	打越 さく良
参議院議員	森 裕子
参議院議員	佐藤 信秋
参議院議員	水落 敏栄
新潟県議会 議長	岩村 良一

顧問

新潟市議会 議長	佐藤 豊美
佐渡市議会 議長	猪股 文彦
聖籠町議会 議長	五十嵐 利榮

名誉会長

新潟県知事	花角 英世
-------	-------

会長

新潟市長	中原 八一
------	-------

副会長

佐渡市長	三浦 基裕
聖籠町長	西脇 道夫
新潟商工会議所 会頭	福田 勝之
新潟経済同友会 筆頭代表幹事	山本 善政
(株)新潟日报社 代表取締役社長	小田 敏三
(一社)新潟港振興協会 会長	中原 八一

監事

(一社)新潟青年会議所 理事長	村山 雄亮
新潟市 副市長	高橋 建造

委員

法務省東京出入国在留管理局新潟出張所 所長	森山 範子
財務省東京税関新潟税関支署 支署長	岩立 和也
厚生労働省新潟検疫所 所長	片山 友子
農林水産省横浜植物防疫所新潟支所 支所長	伊藤 正明
農林水産省動物検疫所新潟空港出張所 所長	浅羽 清一
国土交通省北陸地方整備局 局長	吉岡 幹夫
国土交通省北陸信越運輸局 局長	板崎 龍介

第九管区海上保安本部 本部長	廣川 隆
新潟海上保安部 部長	井手 久敏
新潟地方気象台 台長	高橋 清利
防衛省自衛隊新潟地方協力本部 本部長	大倉 正義
防衛省海上自衛隊新潟基地分遣隊 隊長	末瀬 雅巳
防衛省北関東防衛局新潟防衛事務所 所長	菅原 聡
新潟県警察本部 警備部長	内藤 芳雄
新津商工会議所 会頭	前田 正実
亀田商工会議所 会頭	五十嵐 豊
新潟県商工会連合会 会長	早川 吉秀
佐渡連合商工会 会長	本間 雅博
聖籠町商工会 会長	森 猛義
(一社)新潟県経営者協会 会長	並木 富士雄
協同組合NICE新潟 理事長	小柳 蔵人
(一社)新津青年会議所 理事長	片岡 靖志
(一社)白根青年会議所 理事長	五十嵐 一也
(一社)にいがた北青年会議所 理事長	石山 貴也
佐渡青年会議所	佐藤 浩司
志民委員会N・Visionプロジェクト 世話人代表	木山 光
新潟市都市景観形成市民団体連絡協議会 会長	肥田野 正明
ミズベリングやすらぎ堤研究会 代表	鈴木 寿行
NPO法人まちづくり学校 理事	知野 孝子
NPO法人新潟水辺の会 副代表	加藤 功
NPO法人新潟みなとクラブ 理事長	石井 洋司
NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部 代表	小島 富美子
NPO法人みなみらいプロジェクト 代表理事	中村 宏太
通船川・栗ノ木川ルネッサンス21 代表	星島 卓美
新潟下町をよくする会 会長	久保田 文博
新潟北部開発協議会 理事長	佐藤 豊
NPO法人ハッピーフィッシング 理事長	本間 陽一
新潟オフショアセーリングクラブ 会長	平井 光治
東京新潟県人会 会長	小林 保廣
関西新潟県人会 会長	小林 俊康
名古屋新潟県人会 会長	八木 達雄
新潟市サポーターズ倶楽部 会長	青島 健太
(公社)北陸信越海事広報協会 会長	南波 秀憲
(公社)日本海海難防止協会 会長	南波 秀憲
北陸信越旅客船協会 会長	小川 健
北陸信越船用工業会 会長	町屋 哲也
(一社)北陸信越小型船舶工業会 会長	五十嵐 由之
新潟水先区水先人会 会長	小坂 徳夫
新潟清港会 会長	真保 高弘
新潟海洋少年団 団長	佐藤 勝
新潟県港湾協会 会長	中原 八一

佐渡港湾協会 会長	三浦 基裕
みなとオアシス佐渡両津運営協議会 会長	齋藤 勉
新潟港運会 会長	高橋 哲哉
新潟港船舶代理店会 会長	本間 常梯
新潟県倉庫協会 会長	遠藤 真也
新潟港公共上屋管理組合 理事長	高橋 哲哉
(一社)日本理立浚渫協会北陸支部 支部長	川崎 博之
(一社)日本海上起重技術協会北陸支部 支部長	本間 達郎
(一社)日本潜水協会北陸支部 支部長	高橋 和彦
全国浚渫業協会日本海支部 支部長	渡邊 孝
新潟県港湾空港建設協会 会長	本間 達郎
(株)リンコーコーポレーション 代表取締役社長	南波 秀憲
富士運輸(株) 代表取締役社長	小林 一郎
日本通運(株)新潟支店 支店長	高橋 哲哉
(株)新潟国際貿易ターミナル 代表取締役社長	青山 正裕
新潟造船(株) 代表取締役社長	鈴木 幹久
新潟県漁業協同組合連合会 代表理事会長	小田 政市
新潟漁業協同組合 代表理事会長	小田 政市
佐渡漁業協同組合 代表理事組合長	寺尾 和弥
加茂湖漁業協同組合 代表理事組合長	伊藤 隆一
聖籠町漁業協同組合 代表理事組合長	小菅 三郎
(公社)新潟県観光協会 会長	高橋 正
(公財)新潟観光コンベンション協会 理事長	福田 勝之
(一社)佐渡観光交流機構 理事長	本間 雅博
聖籠町観光協会 会長	小林 堅
(一社)日本旅行業協会関東支部新潟県地区委員会 委員長	山田 周
(一社)新潟県旅行業協会 理事長	小林 裕一
新潟シティホテル連絡協議会 会長	後藤 克洋
新潟市旅館ホテル協同組合 理事長	曾根 隆夫
新潟万代島総合企画(株) 代表取締役社長	佐藤 隆
新潟万代島ビルディング(株) 代表取締役社長	島内 眞
万代にぎわい創造(株) 代表取締役社長	本間 龍夫
柳都振興(株) 取締役会長	中野 進
(公社)新潟県トラック協会 会長	小林 和男
(公社)新潟県バス協会 会長	山田 知治
(一社)新潟県ハイヤー・タクシー協会 会長	佐藤 友紀
新潟市ハイヤータクシー協会 会長	佐藤 友紀
佐渡汽船(株) 代表取締役社長	尾崎 弘明
新日本海フェリー(株)新潟支店 執行役員支店長	寺田 光徳
信濃川ウォーターシャトル(株) 代表取締役社長	栗原 道平
東日本旅客鉄道(株)新潟支社 執行役員新潟支社長	阿部 亮
東日本高速道路(株)新潟支社 執行役員新潟支社長	鈴木 啓之
新潟交通(株) 代表取締役社長	星野 佳人
新潟空港整備推進協議会 会長	花角 英世

新潟空港ビルディング(株) 代表取締役社長	佐々木 稔
全日本空輸(株)新潟支店 支店長	鈴木 宏司
日本航空(株)新潟支店 支店長	乃美 恵輔
(株)フジドリームエアラインズ新潟空港支店 支店長	小川 智代
(株)大韓航空新潟支店 支店長	渡辺 睦史
中国東方航空公司新潟支店 支店長	劉 飛
中国南方航空新潟支店 支店長	小笠原 千鶴
ファーイースタン航空 日本地区支配人	熊谷 和英
東日本電信電話(株)埼玉事業部新潟支店 支店長	飯塚 智
日本郵便(株)信越支社 支社長	柳澤 明彦
東北電力(株)新潟支店 上席執行役員支店長	高野 広充
北陸瓦斯(株) 代表取締役社長	敦井 一友
セコム信越(株) 代表取締役社長	竹田 正弘
新潟総合警備保障(株) 代表取締役社長	廣田 幹人
(公財)新潟県国際交流協会 理事長	中山 輝也
(公財)新潟県国際交流協会 代表理事	堀川 武
(公財)新潟県文化振興財団 代表理事	長谷川 彰
(公財)新潟市芸術文化振興財団 理事長	小池 泰子
大学連携新潟協議会 代表	牛木 辰男
新潟県高等学校長協会 会長	市川 亮
新潟県中学校長会 会長	佐藤 幹夫
新潟県小学校長会 会長	吉田 隆
新潟市中学校長会 会長	津野 庄一郎
新潟市小学校長会 会長	政谷 英樹
佐渡市中学校長会 会長	加藤 雄一郎
佐渡市小学校長会 会長	新発田 靖
朝日新聞社新潟総局 総局長	秋山 亮太
毎日新聞社新潟支局 支局長	増田 博樹
読売新聞社新潟支局 支局長	増満 浩志
産経新聞社新潟支局 支局長	池田 証志
日本経済新聞社新潟支局 支局長	管野 宏哉
共同通信社新潟支局 支局長	長谷川 健司
時事通信社新潟支局 支局長	吉田 忠展
日本放送協会新潟放送局 局長	太田 浩一郎
(株)新潟放送 代表取締役社長	佐藤 隆夫
(株)NST新潟総合テレビ 代表取締役社長	大橋 武紀
(株)テレビ新潟放送網 代表取締役社長	務台 昭彦
(株)新潟テレビ21 代表取締役社長	栗原 美樹
(株)エフエムラジオ新潟 代表取締役社長	中野 幹
新潟県民エフエム放送(株) 代表取締役社長	出口 和浩
(株)ニューメディア新潟センター 常務取締役新潟センター長	河西 弘太郎

(敬称略、順不同)

あ と が き

この度、新潟開港 150 周年記念事業の遂行にあたり、多くの市民、経済界をはじめとする各種団体、企業などの皆さまからご支援、ご協力を賜り、無事に記念事業が終了できたことを、心からお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

記念事業の取り組みにあたっては、多くの皆さまにとって、新潟が「みなとまち」であるという認識をあまりお持ちでないなかでの事業展開を強いられましたが、各種アニバーサリー行事等の実施により、本地域のアイデンティティとして「みなとまち新潟」という目標像を浸透させることができたのではないかと思います。

人口減少や超高齢・少子社会が急速に進展するなか、持続可能なまちづくりや地域経済の活性化を図るためには、新潟発展の原点である「みなと」を中心とした花街、食などの文化、歴史、街並みを活かし、市民の皆さまから誇りを持っていただき、また訪れる人に期待を抱いていただけるような魅力ある「みなとまち新潟」づくりが重要なキーワードになるものと考えています。

今後も記念事業を通じて培われた様々な絆を貴重な財産として「みなとまち新潟」のさらなる発展が遂げられるものと期待しています。皆さま方の変わらぬご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、3か年にわたった記念事業等について、全てを掲載すべきところ、紙面の都合により、割愛いたしましたことをお許しいただきたいと思ひます。

令和 2 年 3 月吉日

新潟開港 150 周年記念事業実行委員会

にいがた かいこう しゅうねん きねん し 新潟開港150周年記念誌

2020（令和 2）年 3 月 発行

発 行 新潟開港 150 周年記念事業実行委員会
事務局 新潟市 2019 年開港 150 周年推進課内



協賛者

未来は、つくりがいがある。



「この街の未来をつくる」

そう言うだけなら誰にだってできる。だから、本間組は考動^{こうどう}する。

未来に何が必要かとことん考え、地域の声に耳を澄まし、いま、できることを全てやる。

青臭いと言われたっていい。それが私たちだ。それが本間組だ。

日々の小さな積み重ねは、必ずその先の街づくりにつながっている。

たとえ、いまは答えが見えないとしても。

未来という形ないものと向き合いながら、これからも本間組は走り続ける。

「たのむよ」と安心して任されるための努力とともに。

さあ、今日は何をつくれるか。



新潟市中央区西湊町通三ノ町3300番地3 TEL025-229-2511(代表)



DIA

ずっと住み続けたいと思う
 上質な住まいをご提供いたします



Dia Land

開発総面積 約3.7万㎡

住宅 店舗 公園 安全

ユーロデザインテーマタウン



新築分譲マンション
DIA PALACE



土地付新築分譲住宅
DIA TERRACE



86 邸
 SERIES NO.92 ダイアパレス上所



47 邸
 SERIES NO.91 ダイアパレス関屋



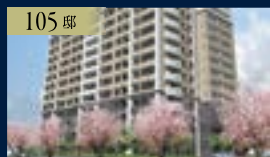
全 22 区画
 SERIES NO.17 ダイアテラス上所I街区



全 6 区画
 SERIES NO.15 ダイアコート竹尾



66 邸
 SERIES NO.88 ダイアパレス町口御門



105 邸
 SERIES NO.72 ダイアパレス川端町



全 19 区画
 SERIES NO.14 ダイアコート青山1丁目



全 12 区画
 SERIES NO.10 ダイアコート東明

DIA PALACE / 新潟県供給 No.1 の実績と信頼



〒950-0088 新潟市中央区万代5丁目7番2号 ダイアパレスシアース万代西棟2F TEL.025-249-7777
 新潟県知事免許(2)第5210号(公社)新潟県宅地建物取引業協会会員(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟



いつもそばに、アークベル

人生の大切な一日を感動とともに。
みなさまのお近くで、心を込めてお手伝いいたします。

—— 結婚式 —— —— 衣裳 —— —— ご葬儀 ——
Arkbell WEDDING BRIDAL COSTUME B I E N V E I L アークベルの **セレモニー**



ハーバーパークアヴェニュー プレストン

Arkbell 株式会社 アークベル
新潟市中央区南笹口2丁目7番20号



KAGATA

<https://www.kagata.co.jp>



やってくる時代に、 何をつくろう。

since1895 NIIGATA…

愛する郷土“新潟のために”、ここで生活する“人々のために”…
創業時から絶えることなく受け継がれてきた“先人たちの熱き想い”

これこそ、私たち加賀田組の“精神であり原点”なのです。

長い時をかけて積み重ねてきた“建設技術”を駆使し
“やってくる時代”に向かって、新たな価値を創造していきます。



株式
会社 **加賀田組**

本 社：新潟市中央区万代4丁目5番15号
〒950-8586

TEL.025-247-5171(大代表)

支 店：新潟・東京・東北

Tomorrow, Together

KDDI

おもしろいほうの未来へ。

au



海里

KAIRI

新潟・庄内の
食と景観を
楽しむ列車

The train in which you can enjoy a meal
and the scenery of Shonai, Niigata.



新潟

を、

群馬

を、

長野

を、

セコムする。

新潟県のデンカビッグスワン、HARD OFF ECO スタジアム新潟。選手が、観客が、心おきなく競技に集中できるようにするのも。群馬県の楽山園。織田家ゆかりの大名庭園に流れるゆったりとした時間を守ることも。長野県の善光寺。この歴史的建造物を、次の世代へと遺していくことも。すべて、わたしたち、セコム上信越の仕事です。セキュリティの先駆者として、もっともすすんだ安全・安心を新潟・群馬・長野3県のみなさまにお届けします。

☎ 0120-126-756 (24時間・年中無休) **セコム上信越株式会社**



人生100年、
財布は
もつかな？



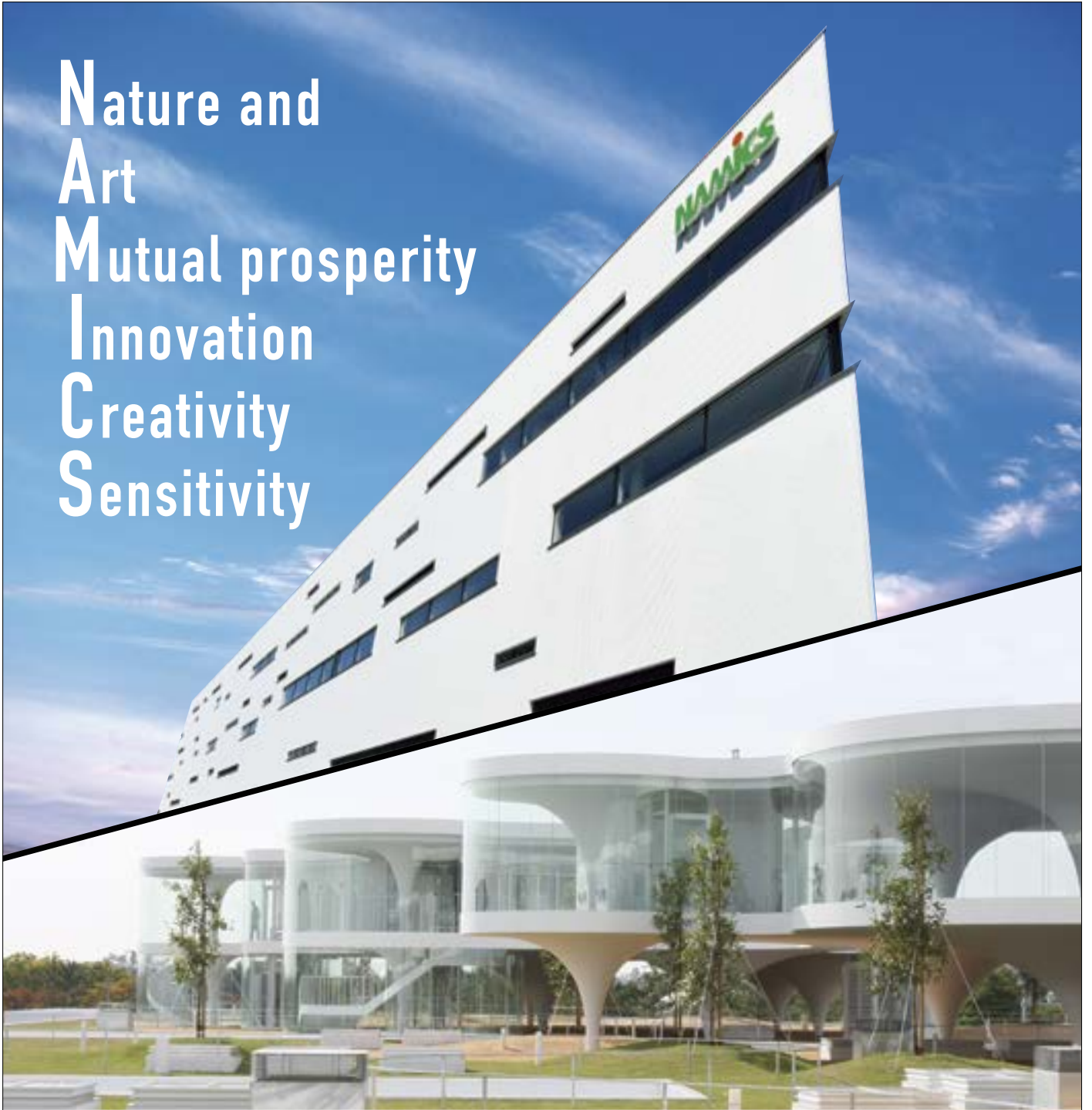
育て、資産。

はじめよう、将来への資産運用。
まずは、お気軽にご相談を。



これからは
備えるのは
いまからだ。

Nature and
Art
Mutual prosperity
Innovation
Creativity
Sensitivity



液晶テレビ、パソコン、携帯電話、スマートホン・・・。

ナミックスの製品は私たちの生活を便利に、快適に彩る様々な
エレクトロニクス製品に使われています。

これからも新たな技術開発に挑戦し、「Made in NIIGATA」を
世界に発信していきます。



導電・絶縁材料のバイオニア

ナミックス株式会社

www.namics.co.jp

- 本社・工場 / 〒950-3131 新潟市北区濁川3993番地 TEL.025-258-5577(代) FAX.025-258-5511
- 営業所 / 東京・大阪 ● 研究所(ナミックステクノコア) / 新潟市北区島見町
- 海外拠点 / 米国、台湾、韓国、中国、ドイツ、シンガポール

企業経営に関することなら、どんなことでも 相談に応じます。お気軽にご利用ください。

ご相談はすべて無料です。お問い合わせは新潟商工会議所まで!!

地域の中小企業・小規模事業者をバックアップ

商工会議所はあなたの経営の ベストパートナーです

商工会議所とは

法律(商工会議所法—昭和28年制定)に基づき、企業規模の大小にかかわらず、あらゆる業種の方々からなる地域総合経済団体です。

商工会議所は、地域経済の発展及び会員事業所の繁栄をめざし国・県や市に対する提言活動や、金融、税務、法律など皆様の経営に関するご相談、経営に役立つ情報の提供など様々な事業を展開しております。

■ 加入資格 ■

事業規模・業種を問わず、本商工会議所地区内で事業を営んでいる方(営業所等含む)。

■ 会費口数(年会費) ■

1口 6,000円

※最低(個人) 1口 6,000円、(法人) 2口 12,000円以上でお願いします。

※特定商工業者の皆様には法律に基づき、台帳整備のための負担金2,000円(年間)をいただいておりますが、これは正会員としての年会費ではございません。正会員となりますと、負担金の2,000円が会費に含まれ、各種サービスを受けることができます。

まだご入会いただけていない方は、
この機会に是非ご入会ください。

交通案内



(バス)

JR新潟駅万代口バスターミナル3番線
[佐渡汽船行き]に乗車。朱鷺メッセで下車(所要時間約15分)

(タクシー)

JR新潟駅万代口から約10分
新潟空港から約20分

(徒歩)

JR新潟駅万代口から約20分

万代島における駐車場ご利用にあたって

※万代島地区の駐車料金
万代島ビルの駐車場 ▶ 料金20分100円
周辺の県営一般駐車場 ▶ 入場から最初の60分無料、以後30分毎に100円

新潟商工会議所

〒950-8711 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル7階
TEL ▶ 025-290-4411(代表) URL ▶ <http://www.niigata-cci.or.jp>
FAX ▶ 025-290-4421 E-mail ▶ office@niigata-cci.or.jp

〈まちづくり支援課〉

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169 新潟国際情報大学中央キャンパス5階
※2020年4月より、5階から3階に移転いたします。
TEL ▶ 025-223-6272 FAX ▶ 025-229-1788
E-mail ▶ tmo@niigata-cci.or.jp

〈北新潟支所〉

〒950-3125 新潟市北区松浜本町4-7-24 北新潟商工会館内
TEL ▶ 025-258-3841 E-mail ▶ kita@niigata-cci.or.jp



世界から
大地の恵みを
お届け。

昭和47年創業以来、世界中の大地の恵みを
皆様のもとへお届けしてまいりました。

新潟飼糧は、かんたんに言えば、牛や馬など草食動物のホカ弁屋さんです。
その他、輸出用コンテナ手配等のお手伝いをするなど普通のエサ屋さんとは、ちょっと違います。
自分たちで見定めた安全で高品質の牧草を、世界中から買い付け・選別・配達まで一貫対応しております。
また、新潟飼糧はおかげさまで牧草輸入では全国でもトップクラスのシェアとなりました。
直輸入が中心なので、頻繁に現地へ赴き品質を見極め、
これまでもこれからも、安全な牧草をお届けいたします。

BUSINESS

安心・安全な飼料を安定提供。
お客様のご要望に迅速・的確にお応えします。

新潟飼糧は家畜飼料の粗飼料（牧草）を世界から直輸入、全国に販売しております。
輸入業務、選別、配達、販売まで一貫作業で対応いたします。

牧草を直輸入

倉庫へ搬入

搬出作業

選別作業

配送

トレーサビリティ

直輸入が70%を占め、その輸入先が現地まで
追跡可能です。いざ問題発生時にすばやく対
応できます。また、年2回、(独)肥飼料検査
所の定期検査ももらさず受けております。

安定供給

異常気象が普通になりつつある昨今、飼料を提
供する者として最低2か月の在庫確保を心がけ
ております。埼玉・千葉の両営業所の2倉庫の
他、多数の牧草用倉庫での引取りが可能です。

海とともに 海洋土木の未来を切り拓く羅針盤をめざして



一般社団法人
日本埋立浚渫協会 北陸支部

〒951-8650 新潟市中央区西湊町通三ノ町3300番地3
株式会社本間組内 電話 025-229-8461

あおみ建設 株式会社

五洋建設 株式会社

東洋建設 株式会社

株式会社 本間組

りんかい日産建設 株式会社

株木建設 株式会社

株式会社 大本組

東亜建設工業 株式会社

株式会社 不動テトラ

みらい建設工業 株式会社

若築建設 株式会社

夕チバナ工業 株式会社

人生という物語を
1ページずつ、共に



お客様の一人ひとりの“今”と“未来”に寄り添い、
最も信頼されるパートナーを目指していきます。



それ、
野村にきいてみよう。

野村証券 新潟支店

フクダグループ スピリット

100年先も誠実

FUKUDA GROUP

創造しつづける
存在でありたい。



今日の便利で快適な社会を築いてきたのは、

夢をカタチにするさまざまな創造。

尽きることなく湧き続ける創造は、

私たちが幸せな未来へと導く案内役です。

福田組は次代につながる創造を、高い技術と熱意で続けていきます。



株式会社 **福田組**

本社／〒951-8668 新潟市中央区一番堀通町3番地10

東京本社／〒102-0073 東京都千代田区九段北3丁目2番4号メヂカルフレンドビル

本・支店／新潟・東京／東北・名古屋・大阪・九州・中越・北海道

URL <http://www.fkd.co.jp/>

おいしさ、思いやり、いつもいっしょに。

健康とおいしさをお届けしたい。私たち**ブルボン**の変わらない想いです。



チョコレート



半生/ビスケット



プチシリーズ



スナック/米菓



飲料/食品/冷菓



キャンデー/グミ



デザート



保存食品



通信販売



自動販売機

プチモール

ブルボングループ



波路夢



イシゴチル



ラーメン

BOURBON
ブルボン

<https://www.bourbon.co.jp>





HOKUETSU

人と自然が共生する
未来のために。
「ミニマム・インパクト」を
追求した紙づくりを
めざします。

ミニマム・インパクトとは、
環境へのあらゆる影響を最小限にとどめる考え方です。



www.hokuetsucorp.com

北越コーポレーション株式会社

事業創造で、幸せな社会を。

NSG
GROUP

私たちのまちを
「世界一豊かで幸せな」
まちに!!



©ALBIREX NIIGATA

NSGグループ

新潟本部 / 〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通2-495
東京本部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10F
<https://www.nsg.gr.jp>



日々感謝



株式会社 **山田機械工業**

- 本社 新潟市北区島見町2434番地26
TEL(025)290-7300 FAX(025)290-7307
- 新潟火力営業所 新潟市東区桃山町2丁目200番地
TEL(025)274-0219 FAX(025)274-5261
- 東火力営業所 北蒲原郡聖籠町東港1丁目1-155
TEL(025)256-2714 FAX(025)256-2722
- 日本海エル・エヌ・ジー営業所 北蒲原郡聖籠町東港1丁目1612-32
TEL(025)256-3228 FAX(025)383-6678

弊社は社会インフラの整備や
維持管理にかかわる
調査・計画・設計などを通じて、
持続可能で魅力ある地域づくりに
貢献しています。



人・街・自然 100年先のふるさとを創る

建設コンサルタント
株式会社 **クリエイトセンター**

新潟市中央区川岸町2丁目8番地1
TEL.025-232-7121 FAX.025-232-7130

Challenging Spirit

挑戦・柔軟・誠実 JFE スチール

Flexibility

JFEスチールは、常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

Sincerity



JFE スチール 株式会社

新潟支社 〒950-0087 新潟市中央区東大通1丁目3番1号 帝石ビル Tel.025(241)9111

第一印刷所

SDGs宣言

私たちはコミュニケーション事業を通じて
持続可能な社会の実現をめざします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第一印刷所 が取り組む 10の目標	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう
8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナシップで 目標を達成しよう	

dip 株式会社 **第一印刷所** HP <https://www.dip.co.jp/>
 本社/新潟市中央区和合町2丁目4番18号 TEL (025) 285-7161(代)(営業本部)
 東京本部/中越支店/上越支店/情報工房DOC県央/情報工房DOC佐渡
 クリエイティブインフォメーションセンター/情報工房DOC 朱鷺メッセ店・万代メディアシップ店

新潟開港150周年 おめでとうございます。

四季折々に美しいまち・新潟。
ふるさとの未来をつくり、育てる人を
たいこう は応援します!



大光銀行

<http://www.taikobank.jp/>



TAKAKI
(有)高喜鉄工

鉄で 暮らしを創る

〒957-0101
新潟県北蒲原郡聖籠町東港3-872-15
TEL 025-256-2366
FAX 025-256-2367



地域とともに



高助 株式会社 **高助**
 〒951-8055 新潟市中央区礎町通四ノ町2100番地
 TEL 025-222-7161(代表) FAX 025-222-7160
<http://www.takasuke.com/>

陸

海

空

陸・海・空の測量技術で地域を支援

NAIS 株式会社 **ナカノアイシステム**

TEL:025-284-2100 <http://www.nais21.co.jp/>

お客様の物流パートナーとして
まごころをお届けします。

新 **運** **新潟** **運輸株式会社**

代表取締役会長 佐藤 朋弥
代表取締役社長 坂井 操


本社 新潟市中央区女池北1丁目1番1号
TEL 025-285-0001(代)

新潟のビルは私たちが守ります

株式会社
新潟ビルサービス

ニッポンを冠して、未来へ。
日本製鉄

日本発祥の製鉄会社として、未来に向かい世界で成長を続けるために。
総合力世界No.1の鉄鋼メーカーへ、
グループの力を結集し、さらなる進化をめざします。

 **NIPPON STEEL**

高 速 道 路 リ ニ ュ ー ア ル プ ロ ジ ェ ク ト 進 行 中

はじまっています、
未来につながる工事。



あなたに、ベスト・ウェイ。



私達は100周年に向けてナンバーワンを目指します。
都市のために。未来のために。

私達は、人を大切にし、人を育て確かな技術と信頼される製品を提供し
企業の発展を通して社会に貢献します。



藤木鉄工株式会社

- ・品質ISO9001(橋梁部門)
- ・環境ISO14001取得事業所



地域未来牽引企業

東港工場

〒957-0101 新潟県北蒲原郡聖籠町東港3-2265-6

【TEL】025-256-2111(代)

【FAX】025-256-2377

【HP】<http://www.fujiki-t.co.jp/>



SMBC

SMBCクレア

昨日、
今日、
明日、三井住友銀行と。

昨日とは違う今日をはじめのために。

今日を未来へとつなげていくために。

私たちは、お一人おひとりの毎日を、
一つひとつの変化を、丁寧に見つめていきたい。

いつどんなときも、あなたにいちばん近い銀行でありたい。

これからもずっと、あなたの人生のパートナーであるために。

SMBC
三井住友銀行

三井住友銀行



新潟の魅力ある発展を想い、
分野を超えてその実現にむけて行動する
志ある市民の力を結集。
将来のまちの姿を思い描き、
すべては妄想することからはじめた。

志 願 委 員 会
N-Vision
PROJECT

▶ その他の協賛者名一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	第四リース株式会社	新潟万代島ビルディング株式会社
朝日生命保険相互会社新潟支社	ダイダン株式会社新潟支店	株式会社新潟マイホームセンター
アサヒビール株式会社新潟支社	株式会社高木防水興業	新潟水先区水先人会
アスカ商事株式会社	株式会社谷村建設	新潟冷蔵株式会社
安達建設興業株式会社	中越運送株式会社	株式会社日さく新潟支店
株式会社アドヴァンス	中部川崎株式会社	日本海曳船株式会社
株式会社安藤・間北陸支店	敦井産業株式会社	日本海エル・エヌ・ジー株式会社
石本酒造株式会社	東亜建設工業株式会社北陸支店	日本生命保険相互会社新潟支社
一正蒲鉾株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	日本通運株式会社新潟支店
エスエヌ環境テクノロジー株式会社	有限会社東京プリント社	日本物理探鑛株式会社
NTT コミュニケーションズ株式会社	東邦産業株式会社	日本郵便株式会社信越支社
NTT 東日本新潟支店	東北電力株式会社	株式会社日本旅行新潟支店
大川スティール株式会社	株式会社ドコモ CS 新潟支店	株式会社バイス
株式会社オリス	豊田通商株式会社	株式会社バウハウス
株式会社開発技術コンサルタント	株式会社中元組	株式会社 BSN アイネット
株式会社加島屋	株式会社新潟クボタ	株式会社廣瀬
株式会社キタック	協同組合新潟県異業種交流センター下越新潟支部	富士運輸株式会社
株式会社共同建設	一般財団法人新潟県建設技術センター	藤田金属株式会社
キリンビール株式会社新潟支社	新潟県港湾協会	株式会社芳樹園
ケーブルテレビ N C V	一般社団法人新潟港振興協会	株式会社ポーラ
株式会社興和	新潟県港湾空港建設協会	北越機電工業株式会社
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	新潟県信用組合	北陸ガス株式会社
国際石油開発帝石株式会社	一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会	株式会社ホテルオークラ新潟
佐川急便株式会社新潟営業所	株式会社新潟ケンベイ	ホテル日航新潟
サッポロビール株式会社新潟統括支社	新潟交通株式会社	丸新グループ
佐藤食品工業株式会社	新潟交友事業株式会社	株式会社水嶋海事工業
佐渡汽船株式会社	株式会社新潟国際貿易ターミナル	株式会社みずほ銀行
サントリー酒類株式会社新潟支店	新潟サンライズゴルフコース	株式会社皆川組
株式会社ジョーメイ	一般社団法人新潟市建設業協会	株式会社村尾技建
清水建設株式会社新潟営業所	新潟照明技研株式会社	株式会社メビウス
株式会社鈴木コーヒー	新潟信用金庫	株式会社山田写真製版所新潟支店
株式会社鈴商	ALSOK 新潟総合警備保障株式会社	山津水産株式会社
税理士法人小川会計	有限会社新潟たけうち	株式会社ユアテック新潟支社
全日本空輸株式会社	新潟中央青果株式会社	UDトラック新潟株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	新潟内航海運組合	ラマダホテル新潟
第一生命保険株式会社新潟支社	新潟配管株式会社	株式会社リンコーコーポレーション
株式会社大建建設	新潟万代島総合企画株式会社	

▶ 物品協賛者

株式会社池田看板（顔出しパネル等3点）



寄付者

▶ 寄付者名一覧

ご寄付をいただいた皆様への感謝の意を込めまして、ご芳名（敬称略）を記載させていただきます。公開を希望されていない寄付者様につきましては、記載しておりません。

企業・団体

旭調査設計株式会社	三和建設株式会社
安達建設興業株式会社	株式会社新交企画
株式会社遠藤製作所	真保電機工業株式会社
金井度量衡株式会社	株式会社ナビック
株式会社 景	一般財団法人新潟県環境衛生研究所
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	星野電気株式会社
株式会社佐久間組	株式会社皆川組
サッポロビール株式会社 新潟統括支社	ムラタ興業株式会社

個人

大川 聡	長谷川正義
櫻井 茂樹	藤原 治郎
佐藤 卓	藤原 恂子
竹井 千晴	吉田 祥太
田中 文雄	渡邊 一栄
玉木 茂	渡辺収一郎